



We
Serve
〈真心こめて ウィ・サーブ〉

四国

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区誌 4・5・6月

第110号
令和2年6月30日発行





激動の一年

ライオンズクラブ国際協会336・A
地区ガバナー 高岡 英治 (松山湯築)

1年を振り返るとき、336・A地区ガバナーという大きな責任ある役職を適切に全う出来たのか自問自答しています。ガバナーエレクト選出の過程に始まり、急遽、国際大会ミラノでの研修、就任式に赴きました。この間、キャビネット構成員の選任、各種研修会の資料作成等に四苦八苦だった事を思い出します。

「キャビネットは336・A地区141クラブの世話役である」との基本に返り、地区ガバナーとしての立場の重大さを強く感じていました。松山キャビネット構成員の方々の協力には、深く感謝申し上げます。また、地区役員・委員の皆様には、資料不足にもかかわらずリジョン・ゾーン、クラブ研修会を開催していただきました事にも厚くお礼申し上げます。

ジュンヨル・チョイ国際会長のスローガン「We Serve」、多様性でウィ・サーブを基本指針として、頑張つてまいりました。日本ライオンズ社員総会、国際会長公式訪問、LCIF理事長訪問、ガバナー会、日本ライオンズGAT会議等に出席し、同期のガバナー達との交流があり、色々と勉強になりました。

そして、336・A地区での、ガバナー公式訪問では、各リジョン・チェアパーソンの皆様の地域特有の温かい歓迎で迎えられました。同様に、周年記念式典、新会員入会式、合同例会も記憶に深く残っております。その時感じた事は、地域社会奉仕の活動の実践は、クラブであり、その奉仕が国際協会の方針に基づいて推進されるようにサポートしていくのがガバナーの役目であると再確認しました。

このまま、終盤までキャビネット役員・委員と共に何事もなく遂行出来るものと思っておりましたが、世界規模の新型コロナ・ウィルスの感染拡大という未知の災害に遭遇してしまいました。すべての会議、集会等が中止になり、シンガポール国際大会、地区・複合地区年次大会も中止になり、急遽、代議員総会を郵送・メールによる決議方法を選択する状況になりましたが、議案決議は承認され、安堵しました。

しかしながら、次期国際会長はジュンヨル・チョイ国際会長が再任され、LCIF理事長もグッドラン理事長が再任されました。国際理事會役員も再任になりました。モントリオール国際大会まで継続します。

地区においては、次期高知キャビネットへの引継ぎ事項が残っております。また、各クラブも同様で、この難局を乗り越える為、最大限の協力をいたします。

激動の1年でしたが、こんな時こそ、ライオンズクラブの同志が力を出し合い誇りを持って前向きに立ち向かっていかなければなりません。

私にとっては、この1年で色々なことを学ぶことが出来ました。地区の運営をキャビネット内局の総力を挙げて勤め、地区役員・委員が一致団結し、迅速に行動力を発揮して行っていました。ありがとうございました。



336・A地区2020～2021年度
酒井公二地区ガバナー！
エレクトへ念願の
ガバナー！キー伝達！！

We Serve CONTENTS

- 2 高岡英治 地区ガバナー所感
 - 3 代替代議員総会の経緯
 - 4・5 指名選挙 開票報告
特集 この一年を振り返って
 - 6・7 コーディネーター
 - 8・9 キャビネット幹事・会計
 - 10～12 リジョン・チェアパーソン
 - 12～18 ゾーン・チェアパーソン
 - 19・20 常設5委員長・IT委員長
 - 21～25 周年記念大会
 - 26～28 ガバナーズ・アワード
(アラート優秀賞)
 - 29～30 年次大会統括副委員長…ひとこと
 - 31 物故会員
キャビネット副幹事・事務局次長のこの一年
 - 32 国際平和ポスターコンテスト
- 表紙写真：瀬戸内海 多々羅大橋 夏景

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため年次大会変更に伴う代替議員総会準備

第66回地区年次大会代替議員総会の開催過程報告(抜粋)

大会幹事・キャビネット幹事 澤田有馬(松山西)

- 3月9日(月) 年次大会拡大委員会 第65回記念式典、代議員総会の開催にあたり、新型コロナウイルスの感染リスク軽減のための方策として、年次大会式典は中止とし、安全に配慮して、代議員総会は予定通り実施することの変更案を了承・決定した。但し記念誌の作成、記念品の配布は計画通り実施する事とした。
- 3月19日(木) 第4回ガバナー協議会 (於：広島市) 各準地区の状況の確認、複合地区年次大会の実施状況の確認、申し合せ。
- 3月20日(金) 松山キャビネット臨時三役会 ジュンヨル・チョイ国際会長、日本ライオンズ識名理事長よりの書簡、3月19日に開催されたライオンズクラブ336複合地区・ガバナー協議会の各準地区の状況の判断により、指名選挙・議案決議の方法を変更することを決定した。
- 3月21日(土) 松山キャビネット臨時三役会 選挙方法の変更案を策定。指名選挙・議案回答の方法をR(リジョン)単位とし、選挙会場を各Rに設置し、少人数での資格審査、選挙とする。但し、各Rの事情を考慮し、異なる選挙方法も了承することとした。
- 3月23日(月) 松山キャビネット臨時三役会 代替代議員総会・投票方法の決定、方法は選挙をR単位で実施(各Rの状況による)とした。
 - RCに対しR選挙管理委員長任命の案内 ●臨時キャビネット会議(選挙説明会)4月4日(土)に開催 ●全クラブに大会議案書の送達、4月6日(月)に送信 ●代替代議員総会、R別開催日を4月18日又は19日、開票日を4月23日(木)とした。
- 3月23日(月) 全クラブへ選挙方法変更の案内(R単位方式)(電子メールにて送達)
- 3月24日(火) 全クラブへ選挙日程、方法の案内()
 - 1～9R・RC、ZC、年次大会役員に対し日程の案内()
 - 1～9R・RC、年次大会役員に対し臨時キャビネット会議開催(4月4日)の案内()
- 4月4日(土) 臨時キャビネット会議(於：伊予鉄会館) 出席者：キャビネット三役、事務局3名、1～9R RC、年次大会委員会3名 ●追加選挙管理委員長任命(選挙管理委員・ZCについてはRCから配布) ●代替代議員総会・議案審議方法の説明 ●選挙日程：日時・会場を4月10日を目途として選定し、R内代議員に告知する。マスク着用での投票とし、入退場時に洗浄用アルコールの使用を義務付ける。●RCへの配布品 R・Zごとの代議員名簿一覧表(資格審査チェックリスト兼用)の配布。資格審査は各ZCが担当し、確認後投票用紙を手渡す。(各Zは時間差の来場とする) 指名選挙用紙・3種類、臨時代議員証共、議案回答用紙・A4×1枚、密封用封筒1枚/代議員1人当り、投票箱(選挙当日までRCにて保管) 各R選挙会場用、予備マスク・洗浄用アルコール、使い捨て鉛筆、投票箱。
 - キャビネットへの返送については、封印の上、4月22日(水) 必着とする。
- 臨時キャビネット会議参加者名簿 (4月4日(土))

●地区ガバナー 高岡 英治	●4RC 藤川 佳代	●地区年次大会 大会委員長 大川 耕三
●キャビネット幹事 澤田 有馬	●5RC 石川 勉	●キャビネット副幹事・事務局長 村井 淳子
●キャビネット会計 兵頭 好喜	●6RC代理ZC 藤戸 啓朗	●キャビネット副幹事・事務局次長 横山 伸也
●1RC 壽野 春幸	●7RC 坂東 伸政	●地区年次大会 事務局長 越智 陽一
●2RC 明比 紳一郎	●8RC 片山 毅	●地区年次大会 事務局 菅野 直也
●3RC 岡本 幸一	●9RC 山本 菊太郎	
- 4月6日(月)・全クラブへ大会議案書の送付(電子メールにて送達)
 - ・代議員総会。代議員名簿・代議員証の発送(全クラブ宛郵便にて送達)

第4回キャビネット会議/2020年6月14日(日)・国際ホテル松山

高岡地区ガバナーはA地区ガバナー・キー伝達式を無事できたことの安堵と感謝の思い：そして次期高知キャビネット三役紹介と酒井ガバナー・エレクトへの応援をお願いしました。



開票

■ 4月23日(日)
■ 国際ホテル松山本館2F

代議員指名選挙および 代議員総会議決案開票

出席者名簿 選挙開票分担

- 統括
(大会議長・地区ガバナー)
高岡 英治
 - 第一号議案・地区ガバナー選挙
(大会幹事・地区キャビネット幹事)
澤田 有馬
(大会会計・地区キャビネット会計)
兵頭 好喜
 - 第二号議案・第一副地区ガバナー選挙
(1RC) 壽野 春幸
(2RC) 明比 紳一郎
 - 第三号議案・第二副地区
ガバナー選挙・議事録作成
(3RC) 岡本 幸一
(1R-1ZC) 白方 基進
 - 第四号議案
(1R-2ZC) 三好 重樹
(1R-3ZC) 河原 秀樹
 - 第五号議案
(地区年次大会 大会委員長)
大川 耕三
(地区キャビネット副幹事・事務局次長)
横山 伸也
 - 第六号議案・記録(VTR記録共)
(地区年次大会 大会事務局長)
越智 陽一
(IT特別委員会 1R担当)
松本 哲見
 - 選挙結果記録・決議録作成
(地区キャビネット副幹事・事務局長)
村井 淳子
 - 写真撮影記録
(地区誌編集委員長)
宗像 陽明
- ※出席予定者の内、酒井第一副地区
ガバナー、坂東7R-RCは越境出席
となるため、愛媛県の要請に従い
欠席要請を行った。

〈投票所カメラレポート〉

各会場ZC立会いにより本人確認も完璧…の様子

各リジョンの選挙スナップ — 1R投票所スナップ —



2R・4/19(日) 通常投票



3R・4/19(日) 通常投票



4R・4/19(日) 郵便投票



5R・4/18(土) 通常投票



6R・4/19(日) 2・3Zは郵便



7R・4/19(日) 通常投票



8R・4/19(日) 通常投票



9R・4/19(日) 通常投票

※キャビネット報告写真使用



ZCによる投票数の照合作業



1RCによる確認作業…報告書記載、
キャビネットに届ける大封筒に入れ
封印。



当日出席者全員マスク着用

投票

■ 各リジョンごと実施
■ 4月18・19日のいずれか

代議員指名選挙および 代議員総会議決案投票

■ 1R投票・4/19(日)の場合

- 13:00～1Z
- 13:30～2Z
- 14:00～3Z
- 14:30 投票箱封鎖
- 15:00 投票数確認
- 15:15 キャビネット大封筒封印

■ 1R代議員指名選挙管理者

- 1RC 壽野 春幸
- 1ZC 白方 基進
- 2ZC 三好 重樹
- 3ZC 河原 秀樹
- 〈1R地区委員〉
GMT・GLT・FWT・会則
小田 剛
- MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加
小倉 圭二
- 青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト
仲田 恭平
- 環境保全・保健福祉・アラート
近藤 國繁
- YCE・ライオンズレオ・国際関係
谷口 裕子
- 記録撮影
松本 哲見

■ 地区ガバナー 高岡 英治

■ キャビネット幹事

澤田 有馬

■ キャビネット会計

兵頭 好喜



キャビネット三役も会場にて
終始見守りました。

ご協力ありがとうございました

大会幹事・キャビネット幹事

澤田 有馬

代議員総会(代替)の、議案審議・開票が無事終了したことをご報告いたします。
第66回年次大会はじめ公式行事が次々と中止となり、松山キャビネットとして最後まで開催を模索した代議員総会でしたが、結果として、開催できる状況にはなりませんでした。

336B・C・D地区が開催を断念し、複合地区年次大会(高知)も中止となる中で、強硬開催は、松山キャビネットの本意とするところではありませんでした。

新型コロナウイルスの影響下でのリジョン・チェアパーソンを選挙管理委員長として、リジョン単位の選挙という変則開催の総会とはいえない不安視する意見もあった事は事実です、各リジョン・チェアパーソンの指導力、ゾーン・チェアパーソン、代議員の皆様のご協力なくして成立はしなかった総会・議案審議であったと思います。関係者の皆様に大きなご協力頂きました事深く感謝申し上げます。

4月23日、開票が無事終了し、総会の総会行事が事故無く終了することが出来た事は、松山キャビネットにとりまして大きな喜びでありました。選挙結果は既報の通りですが、当選されました、酒井ガバナー・エレクトの来期のご活躍にエールを送るとともに、大会幹事として会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

■開票カメラレポート



13:30 Rごとに大封筒開封…各RC投票者届け数と小封筒数照合

14:00 本開票作業開始…候補者別に賛成票を10枚重ねに並べる…15:00 すべての合計票一致しましたの声、思わず拍手!!

■資格審査委員会報告。(代議員総数については、ライオンズクラブ国際協会336-A地区3月1日現在)
岡本幸一資格審査委員長より、議事規則に則り、本代替代議員総会が正常に成立したことが報告された。

■資格審査の結果	①代議員総数	525
	②元地区ガバナー出席予定者	15 (336-A地区内元ガバナー)
	③代議員構成員数 計	540 (①+②)
	④本日出席代議員総数	483 (投票総数)

開票結果報告

■大会議長 高岡英治 この報告をもって、代議員総会議事規則により、酒井公一氏を地区ガバナーエレクト、蔵本守雄氏を第一副地区ガバナー、市村通夫氏を第二副地区ガバナーに決定いたします。

2020~2021年度 地区ガバナー	
立候補者 酒井 公一 (高知りょうま)	
(第一号議案)・投票総数	481
・賛成投票数	470
・反対投票数	10
・無効投票数	1

2020~2021年度 第一副地区ガバナー	
立候補者 蔵本 守雄 (高松源平)	
(第二号議案)・投票総数	483
・賛成投票数	459
・反対投票数	23
・無効投票数	1

2020~2021年度 第二副地区ガバナー	
立候補者 市村 通夫 (鴨島)	
(第三号議案)・投票総数	481
・賛成投票数	461
・反対投票数	19
・無効投票数	1

■大会議長 高岡英治 第四・五・六号議案につきましては、選挙管理委員長報告により、有効投票合計数の過半数の賛成票を得ていますので、原案通り可決・承認されました。

2019~2020年度 複合地区費及び負担金	
(第四号議案)・投票総数	479
・賛成投票数	454
・反対投票数	22
・無効投票数	3

2018~2019年度 道前キャビネット会計収支報告	
(第五号議案)・投票総数	479
・賛成投票数	314
・反対投票数	161
・無効投票数	4

2019~2020年度 336-A地区上半期各種会計報告	
(第六号議案)・投票総数	479
・賛成投票数	449
・反対投票数	27
・無効投票数	3

キャビネット幹事



澤田 有馬
(松山西)

記憶にも記録にも残った一年

2019年6月に突然準備を始める事になった松山キャビネットは、まさに嵐の中の船出で、通常2年間の準備期間を、僅か1ヶ月余で体制を整え、立ち上げる必要

があり十分な準備は物理的に不可能な部分が多々ありました。この為、キャビネットの総意は、当初から4月の地区年次大会を成功裏に開催することを目標とし、全員一丸となって邁進する事が高岡地区ガバナー始めとするメンバーの目標でした。残念ながら新型コロナ感染症蔓延の影響で開催することは叶いませんでした。代議員総会も最後まで開催を模索しましたが、シンガポール国際大会まで中止となり、代替総会としてリジョン単位で開催することに変更しました。しかし会員皆様のご協力により、この代替え大会が立派に開催されたと自負しております。

この1年間キャビネット幹事の心得として、キーワード「真心」の推進と、ライオンズサーバントとしての役割で、クラブ会員・キャビネットを支える事にあるとの考えで進めさせて頂きました。各リジョンへの公式訪問では目標として、「楽しいライオンズ」精神で随行し、「新会員・会員にとってライオンズをもっと身近で親しみやすい存在にする」ことで会員増強。維持を伝える事でした。我々ライオンズの問題の一つに、ITの活用でコミュニケーションの方法・手段は格段に進歩しているにも拘わらず、「対話・会話そのものが不足している。」ことだと考えられています。双方向の情報のやりとりが増加しても、

心の通い合いとは別のものだとされています。会話・対話の増進がライオンズの奉仕の精神、ウィ・サーブにも通じており、各リジョン訪問で各クラブ会員の皆様と少しでも通じ合う事が出来、この事の実践を感じた実りの多い公式訪問であったと思います。

さらに、我々の使命は次の世代に、ライオンズクラブを「守る責任」と「変える勇氣」を継承していくことにあると確信しております。

本年度幹事としての最高の財産は、机の上にある交換した約350枚の名刺です。行く先々で、お逢いしたメンバーの方には、ライオンズの仲間として受け入れて頂き、また笑顔で迎えて頂き。ライオンズで良かったと思う瞬間を、いたる所で味わいました。これも会員皆様の、ウィ・サーブの心、寛容の心があったからと感謝しております。

また、沢山の助言を頂きました名誉顧問会の皆様、RC・ZCの皆様、各委員長・大会委員・事務局等々列挙できぬほどの人達に、お世話になりました。最も感謝すべきは、高岡地区ガバナー・兵頭地区キャビネット会計であったと感じています。

末筆になりますが、各クラブの今後益々のご繁栄・ご発展、各クラブ会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。この

1年間の総ての経験に感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



〈2020~2021〉

夢のつづきは土佐の高知で…!!

キャビネット会計



兵頭 好喜
(松山中央)

令和の時代、新たな一步を

今期は諸事情で急遽高岡英治氏

が地区ガバナーとしてキャビネットを立ち上げる事になり、ガバナー

スローガン“ウィ・サーブ”、キ

ーワード“真心”そして“四国は一

つ”の思いのもと、キャビネット三役、年次大会委員長、事務局長、各

委員長、副幹事に錚々たる方々が就任し、また各リジョンからはRC、

ZC、各地区委員の方々を輩出して頂きました。

スタートは出遅れを余儀なくされ大変な思いの中、地区名誉顧問会

の先輩方のご指導を仰ぎ何とか年明けの第3回キャビネット会議まで

漕ぎ着ける事が出来ました。後は着々と準備をすすめてきた地区年次

大会を盛大に開催するのみになっていました。この頃より新型コロナ

ナウィルスの感染が広がり、地区年次大会の開催が厳しくなってきました。

した。

地区年次大会の開催方法も二転三転し、最後はライオンズクラブ国

際協会指針に則り各リジョン毎の選挙に決定し、厳正な開票を行なっ

て各クラブに報告をしたところです。

キャビネット会計の役割とは、三役の一員としてガバナー・キーワ

ードである“真心”を持ってガバナー、幹事を支え、内局、事務局や組

織の和を保ちスムーズに事を進める事であると思いい行動しました。そ

して大事な事は地区内各クラブの皆様よりお預かりしている地区費を、

副会計の協力を得ながら透明性を持って無駄な出費をしないよう努め

ました。また前年度キャビネットの引き継ぎ事案に問題があり地区名

誉顧問の指導を仰ぎキャビネット三

役、監査役で問題解決に努めまし

た。

ガバナー公式訪問随行では各リ

ジョンともRCの思いが良く反映

され又ZC各地区委員、各クラブの

役員の皆様が友愛と相互理解と“四国

は一つ”の精神を遺憾無く発揮して素晴

らしい式典と懇親会で、地区内の皆様方と

深く知りあうことが出来ました。

心残りなことは、新型コロナ問題により地区年次大会式典が開催出

来なかったため、スポットライトの中に高岡地区ガバナーと酒井エレ

クトの勇姿を見る事が出来なかったこと、コロナ問題で殆どのクラブ

の周年記念大会が中止のため出席できず、各クラブを理解する良い機

会を逃したことで、名誉顧問会の先輩方々のご教示を頂く機会少なくなっ

たことがあげられます。

波乱万丈の1年でしたが地区内の名誉顧問会をはじめ地区役員、地

区委員、クラブ役員会員の方々のご理解とご支援を頂きました事に感

謝申し上げます。各クラブの今後のご発展、会員皆様方の益々のご健

勝、ご多幸そして次期高知キャビネットのご活躍を心より祈念申し上

げ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



〈2019~2020〉
第66回 336-A 地区年次大会は…幻に――

元地区ガバナー・地区名誉顧問
LCFキャンペンコーディネーター
336複合地区ガバナー協議会議長

一年を振り返って



橋本 充好
(高知柏)

2017年7月から始まったキャンペン100は今年度で3年目を迎え終わろうとしています。日本レベルでは昨年度は過去最高の寄付額を集めました。しかしながら、336複合地区では私のリーダーシップの不足からか目標額に達せず、残念でなりません。来期はキャンペン100の最終年度の予定でしたが、コロナの関係でもう1年継続することとなりました。私も頑張りますので336・A地区の底力を今後とも見せていただきたいと思っています。

ライオンズクラブはご存知のように地域社会と世界に奉仕する団体です。

元地区ガバナー・地区名誉顧問
地区GMT・GLTコーディネーター

サクセス・ストーリーについて



真鍋 隆
(こんぴら)

高岡地区ガバナーのもと7月からスタートした今年度も早、年度末を迎える時期となりました。又、新型コロナウイルスの影響でライオンズクラブの会議、研修会、年次大会、アクティビティ等あらゆる活動が休止してしまいました。

四国地区の会員増強計画も大きな打撃を受け、残念なことに退会者も増えているのが現状です。私の会社も3月から宴会等のキャンセルが相次ぎ困窮しています。しかし、多くのライオンズの友人から励ましの言葉をいただき、その温かな心に感謝、感謝です。会員の皆様の中にも私と同じ環境の方も多数いらっしゃると思いますので、ぜひライオンズの絆で激励をお願い致します。ライオンズ愛がメンバーに勇気を与えるはずですよ。

地域社会には労力や金銭奉仕を行い根付いていますが、世界に対する貢献度は今一歩と考えています。会員として一方の目は地域にそして片方の目は世界を見つめていただければと思います。

地区ガバナーのリーダーシップの下、RC、ZCが目標を達成するため各クラブの理解を求めることが大切です。2020年度に向けてもエンジンを全開させていただきますようお願いいたします。

ただ残念なことです。来期はGMT・GLTのコーディネーターを拝命しています。会員を増やすことは、奉仕の輪を広げることでもあります。クラブ会長がリーダーシップを発揮することは、クラブを活性化します。

新しい出会いを楽しみにしています。

さて、GMT・GLTコーディネーターとして2年間大変お世話になりました。地区役員、地区委員、クラブ会長さん達に非力ながら会員増強やクラブの活性についてヒントとなる事例を話してまいりましたが、今般その事例を日本レベルでまとめました。クラブの問題や、どういう風に改善に取り組み、成功したかの例を掲載しています。アクセスの方法ですが①336・A地区のホームページを開き②ライオンズリンクをクリック③ライオン誌日本語版事務所をクリック④そして上欄の情報資料をクリック⑤次の画面の下段のグローバル・アクション・チーム(GAT)関係を開き⑥GMTサクセス・ストーリーをクリック⑦以上で330地区から337地区のクラブのサクセス・ストーリーがダウンロードできます。ぜひご覧いただきクラブの将来の一助となれば幸いです。

次年度は地区コーディネーターを元氣一杯の橋本充好氏にバトンをお渡しし、私は複合地区のGMTコーディネーターと会則および付則・運営マニュアル編集副委員長の役に専念して、早期のライオンズ必携の発行等で皆様に恩返しできればと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

元地区ガバナー・地区名誉顧問
地区GSTコーディネーター

地域に支えられたGST活動
糖尿病キャンペーンから得たもの



川辺 信郎
(徳島城山)

地区GSTコーディネーターの仕事は、地区全体の奉仕活動のサポートです。

しかし、各R・Zが持つ奉仕への自己意識は高く、私は逆に、助けられた思いの感謝の年となりました。

実際、高岡キャビネットは順風下の出発ではなく、態勢の主軸を模索しながらのキックオフでした。それは、急ごしらえでありながらも高岡地区ガバナーの強い指導力のもと、その「急ごしらえ」が早々に盤石な組織に編成されたのは、「糖尿病勉強会」の成果が示しています。

私は今年度、地区GSTとして「糖尿病キャンペーン」を主唱しました。

地区FWTコーディネーター
副幹事・事務局長

使命感でがんばった一年



村井 淳子
(松山つばき)

私の運命の歯車が大きく急転回したのは昨年7月でした。突然の高岡地区ガバナー就任です。お世話になっていた高岡地区ガバナーのお役に少しでも立てたらとそんな思いで役職を拝命致しました。2年目の地区FWTコーディネーター、松山キャビネット副幹事・事務局長としてクラブ幹事と三足の草鞋を履いて1年過ごすことになったのです。「苦あれば楽あり」の人生訓のもと何事も忍の一字で生き抜いてきた私ですが、慣れないキャビネットのお仕事、手探りの出発に不安いっぱい、何度か事務局長を辞退しようと思ひ悩みました。その都度、元地区ガバナーの方々の励まし、高岡地区ガバナーのよき人間性が力を与えて下さいました。引き受けた以

これは国際協会の眼目活動のひとつでもあり、糖尿病の未然防止と、その克服への道をライオンズクラブが世界中に提唱している活動です。更に、四国は糖尿病患者が高止まりしている地区でもあります。

ただ、地区GSTの声はキャビネットとの協働でないと完成しません。こんな私の声を強く推してくれたのが高岡キャビネットです。この活動は会員の熱意を掘りおこし、またひとつのよき副作用も、もたらしました。

それは、医療関係者である会員の協力を基にR全体で、糖尿病の講演活動が展開されたこと。またその一方、「糖尿病と向き合うライオンズ」、この姿勢を広くノンライオンに喧伝する機会が得られたことです。

国民病とも云われる糖尿病に対して、会員間の勉強会を超え、広く市民への啓蒙に成長した活動が今後の道標となれば幸甚です。もちろんこの道標は私が残したものではありません。キャビネットをはじめ、R、Z、そして会員個々が真摯にライオンズ活動と取り組んでいただいた結果です。

ありがとうございました。

上は、役に立ちたいと思い毎日勤務を心がけ、自分の本来の仕事と調整しながら、事務局の理解も得てやり通す事が出来ました。

キャビネットに席をおいて感じたことは、141クラブの会員の皆様がメルビン・ジョーンズ創設者のウィ・サーブをモットーに、誇りを持って地域社会のニーズに応えるため出会いを大切に、手を携えて頑張っておられることです。役員の皆様は仕事と両立させ責務を果しておられました。

私のFWTコーディネーターの仕事はとても順調に進み外貨収集では4R藤川RC他、皆さんのご協力で思わぬ成果が上がりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が猛威を振る最近のコイン換金に県外へ行けなくなっています。ヘアドネーションも、多くの方が協力下さり、艶やかな黒髪が届き、感動の日々でした。現在ではジャードックの受け付けが止まっている現状です。予期せぬことが起こる現代、LCIF、MJF献金の重要性を実感しています。今後のライオンズ活動は多様な価値観に即応するためマンネリ化を防止し、新たな戦略が重要です。役員・会長をはじめ会員の皆様ご支援ありがとうございました。

四国は一つ——9リジョン・26ゾーン

真心こめて We Serve

この一年の活動を振り返って…



リジョン・チェアパーソン

今年予定をしておりました1リジョンの事業にご参加、ご協力をいただきました地区役員、地区委員、各クラブの皆様本当にありがとうございました。18クラブが今年頭初から会員増強に力を注ぎ、例会訪問において多くの新会員の入会式に立ち会わせていただき大変嬉しく思いました。また充実した例会運営と事業運営を拝見させていただきました。LCIFキャンペーン100・1リジョンチャリティボーリング大会は大盛況に終えることができました。初めて参加させていただいた2ゾーンの合同例会は、毎年開催されておりとても充実した有意義なものでした。ゾーン編制の声が出てアンケート調査を致しました。現状維持を望むクラブが多く、現段階で考える必要も無いことが解り、かえって良かったと思います。新型コロナウイルスの感染拡大により、下半期の事業と年次大会は行うことができませんでしたが、今私たちにできることは、感染しない、させないことだと思えます。まだまだ終息は見えませんが、今できることを「明るく、元気に、前向きに！」進んでいきましょう。新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健康ご多幸を心からご祈念申し上げます。1年間本当にお礼の挨拶と致します。



1R-RC
壽野 春幸
(砥部)

「明るく、元気に、前向きに！」
出来ることを

336・A地区にとって、ガバナー・エレクト不在という特異な状況で準備が始まった今年度がウィルス禍に依り閉塞感漂わせたまま終わろうとしています。高岡地区ガバナー・スローガン「We Serve」、キーワード「真心」で始まった中で、リジョンでの私の運営方針は、「やらなければならぬ事を好きになり楽しく活動をし、そして素晴らしい思い出創り」を掲げ、皆さんと共に活動させて頂きました。当初の想いと違った思いが作られました。私にとって記憶に残る特別な1年となりました。



2R-RC
明比 紳一郎
(西条)

未来へのステップ

60周年記念式典のクラブが、大洲ライオンズクラブと宇和ライオンズクラブの2クラブあり、懐かしい再会、楽しいひと時を過ごさせてもらいました。後半は新型コロナウイルスの影響で、薬物乱用防止教育認定講師養成講座を中止せざるを得ないこととなり、これが心残りです。ただ、アワードの選考と第66回地区年次大会指名選挙および代議員総会議決が変形ながら行われたことで、安堵しております。



3R-RC
岡本 幸一
(伊予吉田)

駆け足の一年

リジョン・チェアパーソンを引き受けて、いつキャビネットが立ち上がるのかと不安な日々を送っていました。地区ガバナーが6月にやっと決まりました。

それからは、委員長スクール、諮問委員会、ガバナー公式訪問、その合間を縫って各クラブの例会訪問を行いました。短期間での任務遂行は、すべてが目白押しでハードだった気がしました。

記憶に残る一年



4R-RC
藤川 佳代
(高松空港)

胸の中で沢山の不安が渦巻いていました。自分の不甲斐なさにRCを引受けた事を何度も何度も後悔しました。そんな未熟な私を支えて下さった4Rのすべての皆様に感謝します。

「小児がん支援の外貨の収集」「ドナー休暇制度協力」「妊産性保険適用の署名」など様々な奉仕活動が出来ました。「第1回4R合同パレード」は、コロナの影響で出来ませんでした。それが、それに代わり「4R合同献血支援活動」は、報道にも大きく取り上げられ、献血数の確保にお役立ちする事ができました。今期後半の全てにおいて、急な変更や、中止により会員さんと事務局員さんには、ご負担をかけてしまい、申し訳ありませんでした。

RCクラブサポーターとして、高松空港LCを中心に1年間支えていただいた4Rの皆様ありがとうございました。

今ここで、声を大にして言いたい。「みーんな。みーんな。ありがとう。」全ての皆様に感謝申し上げます。

退任にあたってのご挨拶



5R-RC
石川 勉
(観音寺中央)

昨年7月5Rのリジョン・チェアパーソンを拝命し、早くも1年が来ようとしています。振り返りますと出発時にキャビネットの出だしに、つまづきをきっかけに、各クラブにご迷惑をお掛けしたことに、お詫び申し上げます。しかし高岡地区ガバナーにおかれましては一方ならぬ苦勞があった事と頭の下がる思いです。

第1回キャビネット会議には、挨拶もそこそこに船出をしましたが、2回3回は決算報告においては、ガバナーの立ちも伝わってくる程でした。

又、終わりに近づき世界に広がりつつある新型コロナウイルス騒動には会員一同戸惑いを隠せないほど動く事が出来なくなり、5Rでもファックスでの例会の開催とか、アクティビティの取りやめなど1年間四苦八苦した思い出です。

この騒動も終止符が早く来ることを願いつつ来期は高知キャビネットが新企画を推し進める事ができるようお祈りします。

最後に5R引継5R・1Z・2Zの引継ができるよう努力したいものです。

会員一同のご健康とご多幸をお祈りいたします。

心ひとつになつて



6R-RC
菱田 征夫
(宿毛)

昨年、6月1日に次期RC・ZC・地区委員研修会に参加し高岡地区ガバナーの抱負を聞いた後、地区役員の皆様方からキャビネット事務局の初動が遅れた事に対するお詫びの挨拶から始まり、複雑な心境になりました。高岡地区ガバナーの温厚な人柄に触れ、皆で支え、思いを伝えた行こうと、心が一つになった瞬間だったと思います。

6RCとして最初の任務が8月17日のガバナー公式訪問でしたが、諸事情でタイトになったスケジュール・弱小の我が宿毛LC・新任の事務局員など最悪の条件の中で336・A地区では、今年度初のガバナー公式訪問となる為、不安と楽しみが交錯する中、参加する皆様方に満足して頂きたいという思いから必死に頑張りました。

例会訪問では、歴史と伝統のあるクラブ、新しく若々しいクラブ、規模など様々ですが、どのクラブも暖かく歓迎して下さい皆様笑顔が忘れられません。

今年2月頃からのコロナウィルスの影響で年次大会等の行事が次々と中止となり大変残念です。今年度はトラブル続きの大変な年となりましたが、無事にRCの役目を終える事ができるのも関係する全ての皆様のご協力があったお陰と感謝し、この1年で構築した素晴らしい人間関係をこれからも続けていきたいと思っております。

この一年を振り返って



7R-RC
坂東 伸政
(高知黒潮)

今期はスタート時から波乱含みとなり、特に松山キャビネットの皆様は、大変なご苦勞をされたことと思います。研修会の資料も引き継ぎが無く、限られた時間での発進となりました。更には、やっと軌道に乗って来た途端、新型コロナウィルスが発生、地区年次大会を始め、ありとあらゆる行事が中止という事態となりました。そうした中でも、会員皆様の安心・安全を一番に考えての行動は流石でした。少ない意見にも耳を傾け「最後は私が責任を持つ。」と言われた高岡地区ガバナーの言葉が今も心に残っております。

私自身、RCとして何が出来たか疑問符が残りますが、反面、リジョン内15クラブの訪問、記念式典への出席、アクティビティへの参加など、より思い出深い貴重な1年となりました。

今期は、ゾーン再編成後初めての年でしたが、ゾーン内合同例会や記念事業等、新しい様々な取組みにより、新たな出会いと友人の繋がりが出来たと思います。

最後になりますが、松山キャビネットの皆様、共に活動して頂いた地区役員・委員の皆様、又、大変ご協力を頂きました各クラブ会長、役員、会員の皆様方に心より厚くお礼申し上げます。



8R-RC
片山 毅
(阿南)

WESEERVEを原点に 次代のクラブ運営を

ガバナー不在で引き継いだRC。高岡地区ガバナーが決まり、公式訪問例会・第1回諮問委員会が開催でき安堵した。「糖尿病セミナー」は、地区初の開催で前例のない事業への取組ではあったが、8R継続事業チャリティーゴルフ大会での基金の一部使用し、地区委員各クラブの協力を頂き充実した事業となった。

次年度地区役員・委員の選任には、会員拡大以上にクラブによっては、高齢・少数で存続可否の現状を聞き調整には苦戦をした。過去2年のRC、ZCが一同に協議する機会がもて、地区役員・委員のリジョン内ローテーション協力体制を確認。諮問委員会報告、今後継承してほしい。新型コロナウイルス感染症はたった数か月のうちに、世界中の全ての人たちに對して社会的、政治的および経済的に甚大な影響を及ぼし出口の見えない状況でもある。ライオンズクラブ運営も、前例主義では行えない状況である。こんな状況だからこそ、ライオンズクラブとして地域にアクティビティ行動が必要ではないだろうか？具体案は提唱できないが、キーワードの1つとして「国際視点」があると思う。何故なら国際ライオンズクラブ所属であるからである。



9R-RC
山本 菊太郎
(鳴門西)

新しい発見の日々

昨年の地区大会で今期の地区ガバナーが決まらない、前代未聞な出来事が発生し、7月まで地区ガバナー不在の状態が始まりました。スタートから躓き、大変な1年間を予測していましたが、高岡地区ガバナーまた松山キャビネットが奮闘し軌道に乗ってきた半期でした。

年の初めから新型コロナウイルスの話が出て、2月から徐々に影響が出始め、現在まで全国的に活動自粛となり336・Aも同様となり、3月以降の研修会、例会、各種会合は中止か小規模になってしまいました。地区大会も開催できず、苦勞が報われない松山キャビネットにはエールをおくり又、功績に感謝しています。

私のRCの活動も8月から本格的に始動し、前半は例会訪問で各クラブを回り周年行事にも出席しました。所かわれば例会方法も全く違い、クラブの特色、地域性、体力に合った活動を目的に、自クラブに参考にさせて貰う事も多くあり新しい発見の日々でした。

3年前にZCを拝命した時と同様に、次期地区役員、委員選出には大変苦労しました。各クラブ共に事情はあると思いますが、ウィ・サーブの精神で協力をして頂き、次期は地区役員、委員が苦勞をしない様に願っています。1年間お世話になりました。

ゾーン・チェアパーソン

1 Region



1R-1ZC
白方 基進
(松山東)

今こそ力を合わせて We Serve

この1年間、前半は壽野春幸リジョン・チェアパーソンの下、手探りで事業を推進してまいりました。会員増強等順調に推移し、新会員スクールやガバナー諮問委員会等わかりやすく工夫をしてきました。

しかしながら後半に向けてパワーアップしようとした矢先に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ライオンズ活動のあり方がまったく変わってしまいました。事業の継続や自粛をしていく中で、これからの新しい形のライオンズ活動のあり方を会員の皆様の英知と勇気を持つて考え、ライオンズだからできることを前進させていかなければなりません。

あつという間の1年、大変だった1年ではありますが、会員の皆様に支えられ充実した1年でした。後半何もできずにご迷惑をお掛けしましたが、会員の皆様にいろいろ支えていただき感謝いたしています。

1年間本当にありがとうございます。



1R-2ZC
三好 重樹
(松山道後)

想定外の連続…

今期2ZCを引き受けさせて頂いて、激動の1年間だったなあとあらためて思います。歴史あるライオンズクラブの活動においても、今期ほど、『想定外』の連続は無かったのではないかと…と思います。令和元年東日本台風に始まり、OSEAL広島大会への参加、SavannaからMylici、Mylicionへの移行、新型コロナウイルス感染症の対応、担当クラブの皆様にも大変なご負担とご迷惑をおかけしました。

その中でも、2Zにおきましては、合同例会を開催することができました。多くの会員に参加していただき誠に感謝しています。中止になったアクティビティも多い中、90%の参加で年次大会の代議員選挙も滞りなく行えました。5月現在ではございますが、困難な状況下で、9名の会員増とゾーンレベルでは最低限の義務は果たしているものと考えております。ご協力ありがとうございました。私の今期の活動を支えてくれた道後ライオンズの皆様、2Zの各ライオンズクラブの皆様、未だ新型コロナウイルスの影響は終息していない状況ではありますが、負けずに頑張っ行っていきましょう。



1R-3ZC
河原 秀樹
(松山金亀)

激動の中…まさか

初めての地区役員を拝命してから早1年近くがたちます。激動の中、高岡地区ガバナーが誕生し少しの遅れで無事活動の開始が出来ました。

6月からの地区役員研修会及び各クラブ役員スクールを終え、まずまず順調な出足でした。7月終わってから10月初めまでの間、6クラブの例会訪問を行いました。クラブ毎の個性特徴がある例会を経験でき今後の参考となりました。

リーダーシップ研修会及び新会員オリエンテーションの講師を務めましたが講師自身が勉強不足で参加者にはよく分からない説明だったでしょう。申し訳ありませんでした。

後半に入ってからまさかの事態が発生してしまいました。新型コロナウイルスの発生です。2月までは予定の活動は終了出来ましたが、地区年次大会を始め主要な行事はことごとく中止に追い込まれました。各クラブの例会等も自粛となつていて様々です。この原稿を書いている今も事態の収束は読めません。一日も早くライオンズ活動の再開が出来る事を祈るばかりです。最後にこの1年、ご指導ご協力をいただいた方々に深く感謝致します。



2R-1ZC
白石 公成
(新居浜別子)

一年を振り返って

令和元年6月の研修会や引継ぎ会を終えて、7月には第1回地区キャビネット会議が開催され、今期の地区ガバナー運営方針や年間計画を確認し、地区ガバナーはじめ今期の多くの地区役員の皆様と面識することができ、懇親することもできました。リジョン会議では、2リジョン内のゾーン・チェアパーソンや地区委員との情報交換や意見交換ができ、2Rガバナーズ・アワード予備選考会では、2R内各クラブのライオンズ活動の状況がよくわかりました。そして、最も身近な1ゾーン内での4クラブの例会訪問や、地区ガバナー諮問委員会で、各クラブの特徴がわかりました。

2月20日開催された1Z4クラブ合同例会・糖尿病啓発講座を最期に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、その後のライオンズ活動は全くできずに、書面による連絡のみとなりました。今後なるべく早く、新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、正常な状態でライオンズ活動ができるようになることを願っております。

今年度1年間お世話になった皆様に感謝いたしますとともに、今後ともよろしく願いいたします。



2R-2ZC
日浅 修
(今治くるしま)

この一年を振り返って

令和の新しい時代に入って、ちょっと不安なスタートでしたが、松山キャビネットの皆様方のご尽力のお陰で、早々に立ち直り、遅れも最小限で済んだように思われます。しかし、年が明けて後半は感染症の影響で全てのスケジュール、行事が停滞し、先の見えない状況になってしまいました。この様な状況だからこそ出来ること、変えていかなければいけない事もあるかと思えます。例会の在り方、奉仕活動の在り方、今まで見えなかった事が見えるようになった事もあります。依然として感染症の収束の気配は感じられません。全世界においてアフターコロナが新しい明るい世界になるように念願しています。

私自身ゾーン・チェアパーソンとして不完全燃焼でしたが、次期の方にバトンタッチして、一日も早くより良いゾーン運営が出来ることを祈念しています。



2R-3ZC
福田 保
(四国中央法皇)

ZC退任にあたり

はじめに、高岡地区ガバナーおよびキャビネットの皆様におかれましては、満足な準備期間もない中、「真心」をもって多くの難題に対処されましたことに深く感謝申し上げます。さて、元号が令和に変わり、国内に祝福ムードに包まれるなか始まった今期も、はや1年がたちました。3Z合同アクティビティ「四国中央子育てフェスタ2019」をはじめとする各種事業に、多数のご参加、ご協力ありがとうございました。特に、2R親善スポーツ大会ではベスト4中3チームを3Zが占めるという快挙を果たし、ZCとして誇らしい限りです。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2R・3Z全5クラブのあらゆる活動が中断しております。中でもクラブにとって大切な、川之江中央LC30周年、および、四国中央法皇LC40周年記念大会も残念ながら中止となってしまいました。早く今まで通りの活動が出来ることを願うばかりです。

最後に、高井ZCA、杉尾事務局員をはじめとする3Zの皆様のご指導、ご協力に心よりお礼申し上げます。



2R-4ZC
佐伯 英司
(伊予小松)

4ゾーンの絆

今年度4ゾーンでは3つの合同事業を実施致しました。ひとつは『ヘアドネーション協力金』とし、ジャードックへ寄付。この事業はアワードのゾーン合同賞として表彰して頂きました。次に『糖尿病学会専門医をお招きして、講座を開催。後半は新型コロナウイルスの影響で2月以降のライオンズクラブの活動が著しく制限され、予定をしていた合同遍路道清掃を残念ながら中止。その様な中で、何かかお役にたてることは無いのかと模索し、『西条市へ次亜塩素酸水生成装置を寄贈』する案が持ち上がり3つ目の事業を実施する事となりました。消毒用アルコールが不足する中、アルコールのように手荒れすることなくコロナウイルスをはじめ様々なウイルスにも効果がある次亜塩素酸水を、西条市を通して西条市民へ無料で提供する取り組みです。クラブ例会も十分に開催出来ない中で各クラブ会長さんに奔走して頂き、5月13日に『次亜塩素酸水生成装置贈呈式』を行う事が出来ました。

今期を振り返りますと困難な状況下にありながらも『We Serve』を心にゾーン運営にご協力下さった4ゾーンは、より一層絆が深まったと感じております。この1年間支えて頂いたゾーンの皆様、またクラブの方々には心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

3Region



3R-1ZC
寺尾 幸記
(大洲)

先は遠い

3月から「新型コロナウイルス」の影響で全世界が何もかもストップしてしまいました。前途多難な時を過ごしております。自粛で行動が制限されてる時期ですが、やれる事をコツコツとやるしかないのです。前向きに考えながら行動してるつもりです。後、数か月の任期ですが、前進あるのみで参ります。今期、3R・1ZCとして何が出来たかと思うとあまり出来なかったのが本音かもしれない。自分なりの目標として「未来に向けて」と題してスタートはしたものの、3R内やらZ内を各会議及び訪問例会等で回って見て、3R内の温度差を感じました。正直、物事を伝える事の難しさを痛感致しました。

ボランティアとは何か？リーダーとは何か？個人的に色々課題が増えたのが事実です。あまり背伸びはせずに「今出来る事を今やる」ぐらいの気持ちで、これから行動して行きたいと思っています。

3R内、まだまだ課題は沢山あります。来期の地区役員さん方に託しますが、皆さんで助け合って一つ一つ解決して行きましょう。何卒宜しくお願い致します。1年間ありがとうございました。



3R-2ZC
西村 正弘
(三瓶)

凝縮の前期、後期の無力感…

この大役を引き受けた時には、果たして無事に努めることができるかと不安でした。キャビネットの皆様も大変なご苦労の中スタートしたため、私達も凝縮された半年でした。諸会議の他、台風の中R197のわずか切りを執行したことを思い出します。後半の半年は全く何もすることができず不甲斐なく思っております。

2019・2020は大変な1年でありましたが、岡本幸一3RCを始め寺尾幸記1ZC、清家達也3ZC、各クラブ会長、会員の皆様のご協力でなんとか1年を終える事が出来ました。誠にありがとうございました。

また、引き続き微力ですが協力できる所がありましたら喜んでお手伝い致しますので何卒よろしくお願い致します。



3R-3ZC
清家 達也
(宇和島)

一年の活動を振り返って

昨年の7月、各クラブの皆さんがスムーズに、楽しくクラブ運営を行えるように、地区の指導者とクラブの橋渡し役としてZCの職務を全うする事を目標に1年の活動をスタートしました。本来は右も左もわからない無知な私に不安はありましたが、ネットの体制自体が十分に機能して、皆さんも戸惑いながらも迷惑をおかけする事となり、大変なご迷惑をおかけしました。地区ガバナンスは、皆さんの地区が本来の姿で、足並み揃った結果、何となく前向きな足並み揃った結果、活動がスタートしたのです。この世界的な大流行が起ったため、中止とならぬ、最後には外出が制限され、この様な経験はおそらく誰にもありません。例え中止する事でも、状況は、非常に残念ではあると思いますが、最終的には行動を控えることしか出来ません。この戦いはおそらく長期戦となるでしょう。今年度中にライオンズ活動も完全に正常化する事も難しいと思います。私自身初めてのもので、いまだにどこか不安な気持ちで、たまに終わることが悔しくてたまいません。最後にライオンズクラブのメンバーの皆さんは、一日も早く、今年度の振り返りと、1年間本当に有難うございました。



4R-1ZC
伏見 正範
(高松南)

この一年を振り返って

この1年間4R・1Zのゾーン・
チエアパーソンを無事につとめるこ
とができましたことを藤川リジョン
・チエアパーソンはじめ各委員の皆
さま、そして各関係クラブの皆さま
に先ずもって厚くお礼申し上げます。
ライオンズクラブ組織に関する見識
が狭い私をここまで導いていただき
まして、本当に有難うございました。
そして、様々な活動の中で多勢のク
ラブ関係者との出会いを頂きました。
こうした人とのつながりは私の人生
の宝であります。

さて、今大変なのは新型コロナウイルス感染症であります。このコロナウイルスは感染しやすく、現在特效薬もなく厄介な病であります。そしてこの病が世界中に広がっています。我々ライオンズクラブも世界組織だけに気になります。今後世界のライオンズクラブ組織の活動に弊害が出ないよう願うばかりであります。どうか、この問題が一日も早く解決し、明るい社会を取り戻したいものであります。

いろいろ申し上げましたが、キャビネット関係各位のご指導に心から厚くお礼申し上げます、この1年間を振り返ってのご挨拶といたします。



4R-2ZC
平賀 将則
(高松西)

波瀾万丈の一年

336・A地区クラブ会員の皆様
1年間ご苦勞様でした。
思い起こせば今期は波瀾万丈な1
年であつたように思います。

昨年336・A地区第65回地区年次大会では思いもよらない出来事から始まり、中国湖北省武漢市での新型コロナウイルスが世界中を脅かして今期が終わろうとしています。

今期中でも一番の出来事は4Rで年度初めに藤川佳代RC率いる22クラブでの合同アクティビティを計画し今年5月に香川県警察音楽隊を先頭に香川県知事並びに高松市長を始めとし、ライオンズ関係者ほか総勢200名余りで大々的に商店街パレードを行う予定をしておりましたが延期から中止となり、高岡地区ガバナール方針である糖尿病・小児がん・献血・骨髄バンクへの活動支援が出来ず無念でした。

また他の奉仕活動や会議など急遽延期や中止などに追われ、終わるのが非常に残念で悔しい思いです。

高岡地区ガバナ―、1年間大変にご苦勞様でした。



4R-3ZC
五味 俊一
(三木さぬき)

一年を振り返って

第10回キャビネット会議で意見が求められたのでLCIFへの献金が寄付金控除の対象になっていないのを、寄付金控除対象団体となるように複合地区と一緒に動いて頂きたいと申し上げた。MJF献金は個人の所得税対象となっていないからである。その後橋本充好複合地区協議会議長がすぐ動いて下さった。社団法人日本ライオンズが実績を積んだ人と公益社団法人としてその受け皿とした。第2回キャビネット会議の時お聞きした。

第1回キャビネット会議でも一つ「地区シェアリング交付金の有効活用」を提案した。準地区にある500万円の原資を、準地区の遅れた今期の活動の活性化に活用して戴きたという。各R、各Z単位でも一緒に考えれば素晴らしいアイデアが生まれ地区全体の連帯意識、相互啓発意識が醸成され期初に抱えた問題も解決されるのではないかと。第2回キャビネット会議でも地区シェアリング交付金について申し上げた。

結果第3回キャビネット会議では案件が複数出てきた。素晴らしいキャビネットの呼びかけである。沢山のクラブがこの奉仕事業にアイデアを出す事が出来、奉仕に参加出来るのである。これからこの1年間お世話になった方々に対する感謝の気持ちを忘れずに今後の準地区の持続的發展を期待するところでございます。お世話になりました皆様有難うございました。



4R-4ZC
水野 彰
(高松紫雲)

激動と死線を超えて

336 A地区のメンバーの皆様、一年で最も素晴らしい桜の季節も過ぎ、新緑の季節も過ぎようとしている今、この閉塞された日々をどのように過ごすか、お過ごしでしょうか。世界人類史上にとつて、2020年は新型コロナウイルスによって、地球に隕石が落ちて来た時に匹敵するぐらいの災難が世界中の人々の上にもたされつづけています。私も個人的に人生に二度と起きることはないと思うようになったとたんの7月すぐに2人のメンバーの死去、そして8月妻がガンを入院したのか自分自身で12月原因不明の難病にかかり、地元病院ではどうすることも出来ず、京大病院へ入院、そして入院中妻の死という無茶苦茶な不運が重なり、一時は自分自身も死を覚悟したくらいでした。70日間ほとんど絶食状態でも水のような下痢がずっとつき、体力も限界を超えていたと思います。しかし日本でも最高の医療と3ヶ月間の闘病生活、2ヶ月間の療養でようやく平常にもどりつつあります。ライオンズ活動も5月からほぼ始めようと思っていますが新型コロナウイルスの影響で集会も出来ず休止状態がずっとつづいています。今後はライオンズのいろいろな活動もコロナ対策を念頭に入れて活動の仕方を変化していく必要があるのではないかと思います。私達の生活は今までも同様ですが、出来ることは限りません。世界中の人々が知恵をしぼって仲良くウィルス対策や助け合いの精神を共有していくべきであると思います。私はライオンズが好きです。皆様一緒にがんばりましょう。

5Region



5R-1ZC
斉藤 義明
(坂出シニア)

ZCの大役を終えて

今年度はスタートの遅れや新型コロナウイルス感染と難しい問題に遭遇された高岡地区ガバナーはじめ松山キャビネット事務局の真摯な対応、本当にお疲れさまでした。

私自身、地区役員の経験もなく、いきなりZCの大役が始まり困惑もありましたが、「例会は楽しく」をコンセプトとして、前向きに自分らしくやっていくことと取り組みました。私の所属するクラブは事務員が不在の為、代わって現職の会長、幹事が幅広くバックアップしてくれたお陰で、大過なく終えることができたと思っています。その他携わって戴いた多くの方々にも感謝です。

現在LCは会員減少の問題を抱えています。その歯止めをかける為に、危機意識を持ち、改革が必要だと思います。そこで①キャビネット会議の内容を充実する為、質疑・意見交換の場とする(挨拶はガバナーのみ)。

②地区年次大会は華美にならず、ライオンマンらしく質素にする。是非検討をお願い致します。是非1年間貴重な経験をさせていたいただき有難うございました。



5R-2ZC
金井 浩三
(多度津)

この一年を振り返って

自分はゾーン・チェアパーソンとしての役目を果たしたのだろうかと思いつつも、無事何故もなく1年間を終えることが出来ました。

永遠の課題である会員増強、そして例会出席率アップこの2点について、各クラブの役員に熱く語ってまいりました。その結果、会員増強についてはプラス、例会出席率についてはなかなか5%アップとはなりませんでした。各クラブの皆様がよく頑張ってくれたことにつき大変感謝申し上げます。

そして高岡地区ガバナーの挨拶にも感銘を受けました。新入会員の入会式の挨拶で1番目に家族、2番目に仕事(会社)そして3番目にライオンズクラブです。今までのガバナーでこういう挨拶をされた方がいたか？私は高岡地区ガバナーが初めてではないかと思っています。そしてその挨拶を私も忘年家族例会で使わせてもらいました。そうするとメンバーから、いいことを言うではないかと褒めの言葉を頂きました。残念なのは地区大会の晴れの舞台で高岡地区ガバナーからメンバーに対しての挨拶がもらえなくなつたことです。これも致し方ありません。高岡地区ガバナー大変お疲れ様でした。

最後にメンバーの皆様方に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。感謝、感謝。

6Region



6R-1ZC
下村 有輝子
(高知北)

この一年の活動を振り返って

この1年間、6R・1Z、ゾーン・チェアパーソンの役を務めさせて頂きました。

地区役員としての、この役は、当然ながら 初めてのことで、分らない事も多々あり、至らぬところも多々あったと思います、皆様のお力添えをいただき、なんとか役を終えることができました。

私自身も、この責任の重い役を担当させていただいたことにより、ライオンズクラブについて知識を深めることができ、沢山の経験をさせていただき大変勉強になりました。また、広く皆様と交流も深めることができ嬉しく思っております。

コロナウィルスの拡散により、後半、いろんな行事が中止となり、大変残念に思います。

今、ライオンズクラブは、会員増強が、一番の重大課題ですが、コロナの影響が出ない様に願っているところです、この異変のある時代を、会員が丸となって、会員増強に向かって頑張っていかなければならぬと思います。1年間大変ありがとうございました。



6R-2ZC
藤戸 啓朗
(須崎)

この一年間の活動を振り返って

異例のスタートとなった今年度、ZCとしてすべきことは、会員間の分断がないよう融和をはかること、また少子化の中で会員減少の流れをどう止めるか、という課題がありました。

会員間の融和に関しては、各クラブの例会やアクティビティに積極的に参加し、意見交換を行い、盃を交わし、一定の成果はあげられたものと考えます。

会員増強に関しては、各クラブとも苦戦しており、その原因のひとつに、現在の経済状況にあつては、給与や年金収入に頼っている方々には、会費の負担がネックになっている現状があります。それを受けて、会員委員会等で突っ込んだ議論をして、多様性をいかした会員の在り方、例えば賛助会員等の具体的な検討を始めたクラブも出てきていましたが、その矢先、コロナ騒ぎで、活動は休止、なおかつ地域経済の先行きにも不安が出てきています。しかし、だからこそ今後ともライオンズの一人としてがんばりたいと考えています。



6R-3ZC
川上 敦也
(大正)

一年間の活動を振り返って

昨年、引継ぎリジョン会議で前任者から概要を教わり、7月からZCとしての役割がスタートしました。各種会議に参加した内容のフィードバックや各クラブへの例会訪問など、今まで受け身で行ってきたことを、当事者・発信者として行うのは、想像していたよりも大変でした。ご挨拶の機会があれば、いつも「勉強をさせていただいている」と述べてまいりましたが、本当に勉強と経験の1年になったことに感謝します。

例会訪問では、各クラブの特色を活かした取組が非常に参考になりましたし、地区レベルの会議への参加でたくさんの方々と知り合えたのは大きな財産です。

その反面、下期は新型コロナウイルス禍により思うような活動もできませんでした。2月末には、高知県でも初の感染者報告があり、日を追うごとに状況が厳しくなったのは既知のとおりです。ライオンズの方々と、大きな影響を受けられていることと思います。早く日常の暮らしに戻ってきますように祈念しつつ、1年間の活動の結びとします。

7Region



7R-1ZC
久万田 昌弘
(高知鏡川)

これからも報恩の精神で

様々な紆余曲折がありました。が、坂東伸政7RCと一緒に担当5クラブの例会を訪問させていただき、他クラブとの交流によって、「友愛と相互理解の精神」を養うLLC素晴らしいさを改めて実感できました。

また、所属の高知鏡川LCでは過去に2回会長を拝命しましたが、キヤベネット構成員としての活動は全てが初体験のため、新鮮な気持ちで取り組むことができました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、今年3月以降の活動はほとんどが中止となり、特に7R・1Zの5クラブ合同例会が中止となったことは、本当に残念でなりません。全てを受け入れることはできませんが、今後の生活スタイルや仕事の方向性を改めて考え直すきっかけとなり、今やるべきことに集中して全力を尽くすことに努めています。

私にとってLCでの奉仕活動は、仕事を含めすべての活動の基本となっています。これからもLCに恩返しをさせて頂く想いで活動して参ります。この1年間、本当にありがとうございました。



7R-2ZC
古味 由里
(高知よさこい)

7R・2ZC退任のご挨拶

今期7R・2Zゾーン・チェアパソンのお役をお受けしてあと1か月を残す所となりました。

初期の内は、ガバナール・エレクト空席のままのスタートでしたが、6月1日高岡地区ガバナーのもと新しいゾーン編成もあり新たな幕明けとなりました。例年通り一つずつ議題をこなしていましたが、1月末頃に突然コロナウイルスが発生して、何かライオンズクラブの計画はすべておかしくなりました。でも1月初めの内は7R・2Zの5クラブで合同新年例会が開かれ、各クラブで隠し芸大会をして頂き楽しい一夜でした。また5クラブで合同新年例会を記念して記念事業で、高知県香美市土佐山田町の女夫ヶ池公園にベンチを贈呈させて頂きました。本当に有難うございました。

また、令和2年2月29日、6R・7R合同LCIFキャンペーン100チャリティボウリング大会の資金獲得をさせて頂きました。この日、高知県にコロナウイルスが発生したために、16名の欠席者が出て51名のスタートになりました。手に消毒をしなごらう皆様、まるで少年少女の様に若々しく2ゲーム、あっという間に投げた頂き、無事終了となりました。寄付金・ドネーション、2時間足らずで149,000円集まりました。6R・7R会員の皆様、大変有難うございました。お疲れ様でした。

その後は何も活躍出来なく本当に残念です。一日も早くコロナウイルスが終息する事をお祈り致します。



7R-3ZC
小谷 眞由美
(高知中央)

この一年の活動を振り返って

早いもので、もう1年が来てしまいました。皆様、色々ご指導、ご助言等ありがとうございました。そして、私からは、すみませんでした、のお詫びの一言につきます。

昨年の今頃、当クラブでの資格者不足により、受諾せざるを得なかったZCのポストでした。入会してから20年近く経過している割には、当初の挨拶にも書かせていただきましたように、会員経験年数に似合わず組織内容、その流れ等をよく理解しておらず、会議に参加しても、ひたすら皆さんのスピーチ等に感心しているだけでした。

今、終わりに近づいて、この1年を振り返ったら、周りの皆様にご迷惑をおかけしただけで、私自身は、色々教えていただけて、お詫びと感謝の言葉を申しあげたいと、心から感じております。

本当に、どうもありがとうございました。

8Region



8R-1ZC
喜田 和彦
(阿波勝浦)

ZC退任あいさつ

8R・1ZCを拝命してから、はや1年が経過しました。

ZCの任務に関する留意点で、ゾーンの運営責任者である・地区キャビネットの方針をゾーン内各クラブに浸透させる・クラブを掌握・指導・運営等々であるとの、基本方針の心構えで臨んで行なつたつもりでありましたが、昨年6月からの活動報告書確認しながら、1年を振り返れば、果たしてどれだけ出来たか、改めてZCの責務の重要を痛感しているものであります。

特に後半は、国難ともいえる新型コロナウイルスに振り回されクラブの例会をはじめ各種LCの会合、アクティビティ等が開催する事が出来ず残念なところであります。

しかしこの1年間、地区役員委員の皆様はじめ各クラブ会員皆様方の温かいご支援ご協力により無事その役の一端が担えたことに感謝し退任のご挨拶いたします。

ありがとうございました。



8R-2ZC
大北 英昭
(土成)

一年を振り返って

ZCの任期もあとわずかとなり、1年を振り返りながら、改めて職務の大変さを実感しつつ、ようやく役目を終えることに安堵しています。

昨年、新任役員研修会を受講できないままでの不安なスタートとなりましたが、キャビネットと各クラブとのパイプ役を果たしたいとの一念で取り組んできました。

就任早々からのリジョン内14クラブの例会訪問やリジョン会議また、ガバナー諮問委員会など大変忙しい日々が続いた前期だったと思っています。

後期は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態となり、各種会合等の延期や中止が相次ぎ戸惑いもあつた中、一方では、キャビネット事務局、年次大会関係者皆様方の多大なご苦勞に感謝を申し上げます。

私としてはゾーン内会員皆様に対し特筆すべき仕事もできないまま任期を終了することにありますが、色々な会合を通して多くの会員と出会い、交流できたことに感謝申し上げますとともに、御協力、御指導いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

9Region



9R-1ZC
春木 扶佐子
(鳴門)

出合いに感謝

役職を拝命してから1年が過ぎようとしております。例会訪問に始まり、各クラブの積極的なアクティビティに参加、今期は特にWeb会議やセミナーで勉強させていただきました。諮問委員会を通じて会員減少等の各クラブの問題点にも多く気づかされました。クラブ運営に費用がかかりすぎて事業を縮小しなければいけない、会の存続が危ないといゾーン内の1クラブも4月末で解散となりました。寂しい出来事です。

そして新型コロナウイルス感染拡大により、クラブ例会や地域での奉仕活動の開催中止を余儀なくされ、私たちの生活、仕事、奉仕のあり方に大きな影響が出てきました。「第66回年次大会中止」高岡地区ガバナーのご心労いかばかりかとお察し申し上げます。人の往来が自粛されることで私たちの活動も休止状態となり、役割を最後まで果たせなかった悔いが残っております。各クラブの皆さまには、こうした時こそ、必要とされる新たな奉仕を模索し、前を向いて頑張っていただきたいと思ひます。私もこの1年の出合いと経験を活かし、これからのウィ・サーブの精神で精進してまいりたいと思ひます。最後に皆さまの健康と安全、そして一日も早い終息を心から願っております。

1年間、ご協力、ありがとうございました。



9R-2ZC
熊代 美仁
(鴨島)

一本の電話から

現在、新型コロナウイルスの拡大で全国的に厳しい日常であります。各ライオンにおいても日々お疲れであると思ひます。

さて、早いものでZCをお引き受けて1年間が終わりを迎えることになり、本当に目まぐるしい日々を過ごさせていただきました。

この1年を振り返って：このことでありますが、まず、担当の各クラブ全てを訪問させていただき、本当に皆様との出合いが一番に残っています。

タイトルの「1本の電話から」であります。これは当クラブ「鴨島ライオンズクラブ」の大先輩である市村ライオンからのお誘いの電話でありました。

会長経験ありとのことでありましたが、私も活動において相当のプランクがあり、本心に説明され、活動再開として出発しました。

しかし各クラブ及び会員の皆様方に非常に迷惑もかけ、充分ではなかったと反省もしております。今後一会員として最大の努力をしてお手伝いできれば幸いです。

最後になりますが山本菊太郎9RC、春木扶佐子9R・1ZC、各委員・各クラブ会員の皆様、1年間ありがとうございました。

GMT・GLT・FWT・会則委員会



委員長
田中 孝幸
(松山西)

いい経験の一年間でも課題は残る

年度当初、GMT・GLT・FWT・会則についての委員会活動方針を会員の皆様にお願ひしてから早いもので今期も残すところ1ヶ月あまりとなりました。然しながら年が明け下半期になり、世界レベルにおける新型コロナウイルス感染症の拡散によって世の中が大変な状況になり、ライオンズクラブにとっても3月のアワード選考会を最後に、活動が軒並み延期や中止になっている現状が2ヶ月ほど続き、このまま今期が終わるのではないかと危惧しているところでした。

そこで今回第66回地区年次大会の分科会で報告する予定であった内容の中でクラブ運営にとって最も重要な会員増強と維持（GMT）について簡単に紙面にて報告いたします。

今期上半期までは会員純増の目標を少し下回りましたが、期首から比べてそれなりに順調に推移していましたが、しかし第3四半期を終えた時点でわずかに9名の純増であり、4月度では入会17名、退会43名と目標にはるか及ばず会員増強の難しさを改めて思い知らされました。（4月で期首より減少になった）私の個人的な考えとしては、入会者の勧誘が全く以って難しいということではなく、今現在で入会者が336名に達している事から、今後も会員増強に於いては今まで以上に会員の退会防止の対策を検討する必要がありますと思いました。

また、今期は新型コロナウイルス感染症の影響で不完全燃焼の感がありますが、今後の会員増強に及ぼす支障が最小限になることを願いつつ、この1年間クラブ会長をはじめ、地区役員、地区委員の皆様にご尽力を頂きましたことに感謝申し上げます。

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会



委員長
友石 晃由
(松山ホスト)

今期を振り返って

今年度、突然委員長を拝命することとなり、当委員会に関する予備知識もなく、何がなにやら分からないままにスタート致しました。本来ならば2月か3月に前委員長より引き継ぎを受け、9名の地区委員の皆様と、今期の活動に関して議論し、皆様の意見を反映した活動方針を作り上げて勢い良く船出を飾るはずだったのですが、今となっては、なんとピント外れの方針を立てたのかと猛省しており、まさに穴があいたら入りたいとはこの事です。

兎にも角にも8月に合同委員会が開かれ、初顔合わせとなった地区委員の皆様と、委員長としての活動方針を伝え、各委員とディスカッションをしてやっとスタートができたと思えました。しかし、当委員会のメイン活動の一つである地区誌「四国」の発刊が遅れており、関係各位からの原稿集めの大変さを改めて思い知りましたが、松山キャベットの「四国」第1号を手にした時の感動は忘れる事ができません。

しかし、その余韻にひたる間もなく、広島OSE ALフォーラム大会への参加人数が目標に達せず、大会参加委員長「もっと参加者を集めてほしい!!」の大会令のもと頑張ったのですが、力及ばず、目標の人数を集めることができませんでした。しかし、初めて体験した国際大会のすばらしさに感動し、各種大会に参加する意義をライオンズメンバーに、どうすればうまく伝わるのだろうかと思委員長としての責務を痛感いたしました。年も明けて残り半年、年次大会に向けて気合を入れた矢先に、あの新型コロナウイルス感染症のために全てがキャンセルとなり、消化不良のまま今期が終わろうとしています。しかし、委員長としての貴重な体験を今後のライオンズ活動に生かしていきたい、微力ながらこれからもライオンズクラブの発展のために全力投球させていただきます。

1年間ありがとうございました。

青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員会



委員長
佐々木 哲広
(松山金亀)

委員会活動を振り返って

今期は、1年を通じて「イレギュラー」の一言に尽きました。LCIFキャンペーン100に付随した、ゴルフ大会、ボウリング大会等次々に来る開催要請、大規模自然災害の多発に伴う災害対応LCIF寄付の要請など、ずっと「寄付金のお願ひ」に明け暮れたように思います。

GSTの糖尿病予防セミナーの開催要請も、非常に短期間の中で開催系計画の立案を地区委員を通じて各リジョンにお願ひしましたが、「突然」の感が強く、数リジョンでの開催に留まりました。来期は今期の事例を踏まえ多くのリジョンで取組んでいただければと思います。

ライオンズクエストについては、前期までの交付金未利用金の消費を目指して、事業期間の延長を行いました。しかし、コロナウイルス感染症予防に関連して、延長期間内での事業実施は難しく、結局中間報告を最終報告に変えて未利用金を精算し、来期以降の新規交付金事業申請に備えることとなりました。

青少年指導では、クラブの規模に関係なく、少数でもアイデア次第で優秀な事業を展開されている例やユニークな取り組みもありますので、各クラブには、これらを参考にしていきたい、また新たな事業展開を模索していただければと思います。

環境保全・保健福祉・アラート委員会



委員長
山下 操
(松山道後)

突然のコロナアラート遭遇

環境保全活動については、コロナウィルスの発生によりリサイクル活動を除いて最も注意すべき3密行動に該当するため、各クラブともに活動を自粛せざるを得ない状況が続いております。

保健福祉活動については、恒例となっており、献血推進研究会や薬物乱用防止教育認定講師養成講座については、コロナウィルス発生により3月に実施予定であった1・2・3リジョンの薬物乱用防止講座は中止となりましたが、その他の研修会・講座については全て前半に実施していたため無事に実施することができました。

アラートについては、常時地域と密接に情報を共有し災害発生時に効果的な支援を行える様に、昨年の香川県社会福祉協議会との提携に続き、令和2年2月27日に愛媛県社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」を締結しました。

近未来に南海トラフ地震の発生が想定されており、次期キャビネットには四国全体の社会福祉協議会との協定締結を目指して頂きたいと思っております。

YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会



委員長
大野 健夫
(松山南)

感謝・無念

昨年6月中旬に急遽YCE委員長を拝命し、何の準備も無いままに7月中旬から夏期キャンプへ突入しました。地区役員人事の遅れを懸念されていた前委員長の青井さんには、当初から大変お世話になりました。又、複合3地区合同で開催したことで、役割分担での対処や、他地区委員長と話す機会を得られたことなどは未熟な委員長にとっては救いとなりました。夏期を終え、ほっとする間もなく冬期交換要請が届きます。夏の経験も有り冬期キャンプに不安は無かったのですが、問題は受入ホストクラブの確保でした。来日期限が迫っているのに、各クラブからの応答も無く、結果的にこれ迄受入経験のあるクラブ、ご家庭にご無理をお願いすることとなってしまいました。本当に有難うございました。

年が明け、夏期交換要請が届いたものの、程なく新型コロナウイルス感染の拡大で全ての夏期交換を中止せざるを得なくなりました。楽しみにされていた青少年には本当に気の毒であり又、YCE事業が当委員会の基礎ゆえに、消化不良のまま任期が終わることを悔しく思います。関係各位の皆様にはご協力を頂き本当に有難うございました。

IT特別委員会



委員長
長尾 和彦
(高松源平)

ライオンズ オンライン会議元年か

地区のITによる効率化と活性化を目指してIT推進チームが発起して7年間、少しずつIT化が進んできており、多くのことが便利になってきました。

しかし今期は、日本独自の会員管理システムSavanAと国際本部のシステムMyLCIとの連携システムが切り離されて会員動静の報告がMyLCI一本化になったり、MyLCIで行っていた国際協会への奉仕活動報告をMyLIONで行うようになるなど、各クラブの事務作業の流れが大きく変わりました。

そのためIT特別委員がサポートに追われ苦労した1年と言えるでしょう。IT特別委員の皆様のおかげに深く感謝しています。

ことは、新型コロナウイルス感染症対策のためライオンズクラブにおいてもWeb会議を利用するようになってきましたが、このオンライン会議の形式は今後定着していくと思われます。さらに、ライオンズクラブの活動を効率よく支えるためにもIT化がどんどん進んでいくので、そのサポートのためにIT特別委員会の役割が大きくなっていくと思われます。

今後ともIT委員の皆様の活躍を期待しております。

40
周年

2R-3Z

四国中央法皇ライオンズクラブ

大会委員長 近藤博文

結成40周年を迎えて

2020年3月29日、結成40周年記念大会を開催すべく準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルスの影響で式典、祝宴を中止せざるをえなくなり、非常に残念です。

四国中央法皇ライオンズクラブも年月を重ねてはや40年、チャーターメンバーも少なくなり、これから先を思い悩むことも多くなりましたが、

今期、来期と若き獅子を会長に迎える事が出来先が楽しみです。

結成40周年記念事業は過去10年間にわたり会員全員で取り組んでおります。翠波高原第3花園「みつまたの里」整備事業を引き続き行いました。自然の驚異へのチャレンジをさらに強力に進めました。

また、行政合併を契機に始めました四国中央法皇ライオンズクラブ杯四国中央市立中学校男女バスケットボール大会を記憶に深くとどめるべく強化して、優勝カップを新調し、

50
周年

1R-1Z

松山東ライオンズクラブ

会長 大野 八重子

松山市へ車いす寄贈

当クラブは、本年50周年の大きな節目の年であります。しかしながら、3月11日のチャリティーゴルフコンペ並びに、3月28日の記念式典を延期いたしました。望みだった今期内の開催は難しく、見通しの立ない状況にはあります。そんな中でも幸いだったのは、今期内の主なアクティビティは全て終了していたことです。加えて、50周年の記念事業のひとつ

である「松山市への車いす20台贈呈」を2月末に野志市長様に直接行えたことです。ギリギリのタイミングでした。この「がまんの春」の経験がいつか思い出話しになる日が来ますように。

追記 6月23日に、6月第二例会と合わせて、規模を縮小して「50周年記念式典・祝賀会」を開催することになりました。

急遽の決定で、準備期間が約2週間。てんでこ舞いで奮闘してくださいましたメンバーの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



参加者全員に記念品、参加チームにはボールを贈呈し記念すべき大会となりました。

これからも若い獅子を中心として会員一同、50周年に向けて邁進して行きたいと思いをします。



55
周年

4R-4Z

高松屋島ライオンズクラブ

会長 筒井伸司

結成55周年記念式典やむなく中止

2020年1月26日(日)、高松屋島ライオンズクラブ第11回小学生音読大会は、児童生徒の言語力、表現力の向上を図るため、読み方や声を工夫した音読を競い合い、読み手として聞き手に内容を伝え、日本語の美しさを体感し、読む力を育てることを目的としています。

当日は、予選を突破した28名の児童たちの上手な音読が披露され、金・銀・銅の勝敗が決まっています。

また、金賞受賞者は、CN 55周年

記念式典にて皆様の前で音読を披露する予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で式典が中止になりました。

低学年の部

金賞 森田 千早(川添小2年)

銀賞 木下 晴太(檀紙小1年)

銅賞 三本 妃悠(香南小1年)

中学年の部

金賞 二川 千春(川東小3年)

銀賞 白井 花帆(国分寺北部小4年)

銅賞 横山 蓮(木太南小3年)

高学年の部

金賞 森川 花恋(国分寺北部小5年)

銀賞 谷 エミリ(植田小6年)

銅賞 ラシエル・ザハラ・マハラニ(鶴尾小6年)

(鶴尾小6年)



10
周年

5R-1Z

坂出シニアライオンズクラブ

会長 倉脇 一郎

コロナ禍に思う

禍福は糾える縄のごとし、まさに当クラブのこの1年を端的に表す諺だ。節目の10周年を機に、60歳を目安としていた入会基準を緩和し、新規会員4人が入会。さらに、クラブ結成後初のゾーン・チェアパーソンを輩出し、3月の記念大会に向けて準備を進め、後は本番を待つのみだった。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で事態は一転。人形劇公演の延期、献血奉仕や施設訪問、例会等の中止、そして遂には、記念大会の開催も断念せざるを得なくなった。当クラブは、企画運営から資料作成に至るまで会員自らが行っていて、松本大会委員長を始め、開催準備に尽力された方々の労苦を思うと残念でならない。

感染防止に有効とされる3密は、同時に人や社会との絆を断ち切る側面があり、社会奉仕と友愛を理念と

するライオンズ活動を今後どう進めて行くか悩ましい。先の見えないコロナ禍に向き合いながら、新たな時代に即したクラブ運営の在り方が問われている。



坂出シニアライオンズクラブは「時間とキャリアを生かして奉仕活動」をコンセプトに地道な活動を続けます…。

※写真は「こころの医療センターカフェ」訪問。

55
周年

1R-3Z

松山中央ライオンズクラブ

会長 山本 宗宏

「坊っちゃん」マドンナ 銅像の設置寄贈ほか

松山中央LCは2020年5月26日CN55周年大会式典・祝宴等を計画、2年に亘り準備を進めてまいりました。しかしご承知の通り「新型コロナウイルス」の世界的蔓延により「非常事態宣言」の発出が宣言され、知事・市長様はじめゲストの皆様健康と安全を最優先、中止を決

定いたしました。

大会のスローガンは「新しい時代を地域と共にWe Serve」で、実施アクティビティは以下の通りです。

●メイン事業は、松山市と協議松山城ロープウェイ乗り場前に愛媛松山が舞台で、世に広く親しまれている文豪夏目漱石の小説「坊っちゃん」から「坊っちゃん」マドンナ銅像の設置贈呈。

●2つ目は、社会福祉事業の観点で松山城ロープウェイ乗り場で重宝されている人に優しい「電

動アシスト車いす」の寄贈。

●3つ目は「オーレカップU・12選手権大会」のスポンサー開催です。青少年育成事業として強い精神と健全な身体作りをとの思いで引き受け、優勝トロフィー等を作成寄贈。

●その他過年度CN15周年事業のメンテナンスで松山空港到着ロビー設置の「村上三島書家石碑」の銘板設置です。

会員121名(2020・4・末)は地域の皆様にライオンズムの精神を少しでもご理解頂き、地域に貢献できるクラブを目指します。



15
周年

4R-4Z

高松北ライオンズクラブ

会長 圖子 圭子

結成15周年を終えて

私も高松北ライオンズクラブは、スポンサークラブである高松西ライオンズクラブ認証30周年記念として2005年4月16日に結成され、この度、結成15年の節目を迎えることができました。これも一重に、スポンサークラブを初め、他クラブの諸先輩方々のご指導のお陰と心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと、当初の方針に掲げております、青少年健全育成

アクティビティと献血推進活動は地道に継続しており、15年間の歴代会長をはじめ会員の奉仕の精神が受け継がれているものと確信致しております。

この度の15周年記念事業では「防犯ベストの寄贈」や「LCIF献金」等を行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、記念例会とともに、医師の木下あゆみ先生による、児童虐待の予防を目的とした記念講演会についても中止を余儀なくされました。

世界中で、新型コロナウイルス感染症の影響が危惧されておりますが、日本で、世界で、助けを必要として

いる人々が大勢いる中、同志を増やし、ライオンズクラブの崇高な精神と誇りを胸に抱き、献身的な活動を継続していけるよう、尚、一層の努力をして参る所存です。

今後とも皆様方の温かいご支援と

ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



高松市立木太小学校への「防犯ベスト」の寄贈



高松市立下笠居小学校への「ありがとうハガキ」の贈呈



香川大学附属高松中学校における「平和ポスター」の表彰

5周年 高松フェニックスライオンズクラブ

会長 宮本 雅由

結成5周年記念例会の1年延期について

高松フェニックスライオンズクラブは、相手の気持ちを理解し、正しいルールに従い、知恵と思いやりを持った労働奉仕とITを最大限に利用した新しいコミュニケーション手段を取り入れた例会運営を目的に2016年4月11日に結成しました。

同時に、奉仕事業は①青少年育成、

②都市公園の清掃、③献血を3つの

柱とし、特に青少年育成をクラブの中核奉仕としました。このため、2

017年5月30日に「高松しらうめ

レオクラブ」をスポンサー、結成し

ました。このレオクラブは、香川県

立高松養護学校高等部の生徒による

クラブです。いつもは支援されてい

る彼らが、自分たちも社会に何か奉

仕が出来ればとの思いで結成されま

した。

5周年記念例会にあたり、記念事

業はレオクラブと共に考え「介護犬

とのふれあい」と「大型スクリーン

の寄贈」を企画しましたが、新型コ

ロナウイルスのため、残念ながら1

年間延期となりました。卒業していく

子供たちの思いも反映した素晴らしい

奉仕活動をじっくり企画して、来

年の結成5周年記念例会を「心に刻

める奉仕」にと決意しています。

55周年 高松東ライオンズクラブ

会長 武田 康裕

変化に順応する

解散の危機が5年前にありましたが、継続アクティビティがあるから存続しようということで賛助会員入会に力を入れた事により40代の方がたくさん入会し解散の危機を脱しました。55周年を迎えた本年度はその新入会員のアイデアで中村文昭氏による事業資金獲得講演会を開催しました。入場料は1枚2,500円で

400名の方が来られ会場は満席になりました。売り上げも100万円、剰余金も半分の50万円あり講演会だけで目標の事業資金を獲得出来ました。

これからライオンズクラブを存続するためには若い会員の発想と行動力が必要です。先日、例会で来期からzoom等のオンラインを使つての会議をしてはどうかとアンケートを取りましたが先輩ライオンからは「直接、顔を合わさないと寂しいな」という意見がありました。また来期

からはコロナの影響を考えて月会費を正会員4,000円、賛助会員2,000円に例会で承認されました。今後のクラブ存続のキーワードは、「変化に順応することだ」と思います。



商店街で募金活動

高松養護学校生ら
豪雨被災者を支援



高松養護学校（高松市田村町）高専部の生徒を中心とした「高松しらうめレオクラブ」のメンバーが、西日本豪雨の被災者を支援しようと、同市の高松丸亀町商店街で募金活動を行った。レオクラブは奉仕活動を通じて青少年の健全育成を目指す組織で、高松フェニックスライオンズクラブがスポンサークラブになって昨年結成した。メンバーら計21人が18日に実施し、買い物客らに「協力よろしくお願ひします」などと協力を呼び掛け、8月の市内のイベントでも募金活動を行い、その時に寄せられた義援金を合わせて計11万3千円を被災地に送る予定。同レオクラブ会長の山根誓号さん（18）は高専部3年。彼は「被災された方が早く元の生活に戻れるよう役立てば」と話した。

〈レオクラブの活動 四国新聞記事より〉



1R-3Z **松山白鷺ライオンズクラブ**
環境保全・アラート委員長
山下 智弘

**We Love石手川&アラート
事業2019を振り返って**

毎年恒例の石手川清掃も今回で28回目を迎えました。

2019年は松山市消防局様にご協力を仰ぎ、800名ほどで清掃活動をした後に地震体験、消火器体験、煙体験、ロープ渡り、パネル展示などを行いました。

今は世界中が新型コロナウイルスと戦っていますが、ここ四国においては南海トラフ地震も近い将来、高い確率で起こるものと言われていると思います。

実際に災害の怖さを体験してもらい、いざ災害が発生したときにどのような対応をとるべきか、命を守るためにどのような行動をとるべきか、もしもの時に今回の経験が役に立てば幸いです。

また、そのために今後もこの事業を継続していければと考えております。



2R-4Z **西条ライオンズクラブ**
会長 高橋 雅顕

災害対策の活動について

2011年3月に起こった東日本大震災で被災した地域、人への支援活動を皮切りに、我がクラブでは震災が起こった際に迅速に支援活動ができるよう専用の基金造りに取り組みました。

メンバー企業が主催するイベントの中で、歴代会長がメインとなり参

加された一般市民の皆さんに災害対策を呼びかけての募金活動は、善意の心に触れることのできる熱い事業となります。

地球温暖化による台風や集中豪雨の頻発に伴い、これまでも基金より義援金として九州北部、広島地区、愛媛県南予へと届けてきました。いつ、どこに起こるか分からない災害に対し、日頃より防災意識の向上、そして何より被災された方々に寄り

添う思いの大切さを忘れず活動を続けていきたいと思っております。



阪神淡路大震災、東日本大震災の痛ましい被害は、今も私たちの中に鮮明に残っています。私達の住む四国は、約100～200年に一度起こると想定される南海トラフ巨大地震への危機感を募らせ、徳島県を中心とし、防災ハザードマップを作成し、各市町村単位で、日々防災訓練

徳島県ヘドローン贈呈

9R-2Z 徳島藍ライオンズクラブ
会長 松本 みづる

等の実施下危機意識の向上に努めています。災害が頻発化、激甚化する中、被害状況等の迅速かつ正確な把握が求められています。この度、徳島県県土整備部においても、平成30年7月の豪雨でドローンの効果を再認識し、ドローン操作育成プロジェクト事業を立ち上げ、ドローンを使用しました。被害状況の初動調査の活用、早期復旧に向けた迅速な対応、そして、災害対応の現場力向上を目

指し、県民の皆様により確かな情報を提供し、「命を守る政策」に取り組んでいる徳島県に対し、微力ではありますが、協力していきたいと考え、ドローン3機を贈呈しました。今後も「ウィ・サーブ」の精神で奉仕活動に取り組んで参りたいと思います。



地域と連携した防災訓練

5R-2Z こんぴらライオンズクラブ
会長 山本 順子

自分の身近で災害は起こらないだろうと安易な考えをしていましたが近年は大きな地震・台風などの災害はめずらしくなくなり、度々死傷者がでるほどの事例が多くなっています。個人や家族で防災訓練を行う「きつけ」を作るのはなかなか難しく、日本赤十字社の指導で地元自治体との「合同防災ボランティア講習会」

に2回参加させていただくことができ多くのことを学ぶことができました。

非常食の炊き出し訓練、応急救護訓練、心肺蘇生法など…そして日赤の方の講話、さまざまな観点から災害発生時に自分にできることを再認識しました。私たちは、比較的災害の少ない香川県人です。そこで生まれ育った人にとっては、「大きな災害に備えて」という意識や感覚はまだまだ薄く、だからこそ小さなことの訓練の繰り返しで、被災した時の

とっさの判断や行動で、命が助かる、助けることができるかもしれない自助・共助の重要性、協力関係が生み出す力、被災はしていても過去の災害から多くを学び家族や近隣と災害時の共通認識を育むことが重要です。天災はいつやってくるかわかりませんが、備えあれば憂いなしで、今後も機会があれば訓練を継続し、事業継続を含むリスク管理を行ってまいりたいと思います。





8R-1Z **徳島マリリンピアライオンズクラブ**
会長 藤田 清人

例会募金活動で台風見舞贈る

台風19号で被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます

徳島マリリンピアライオンズクラブでは少しでもお役に立てればと例会等で募金を募り、災害支援金として被災地域に送りました。被害に会われた皆様にはお見舞いと一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。近年、このような甚大な自然災害が多くなっていますので、いつでも支援ができるよう、各例会で声がけを続けて行きたいと考えているところです。



寄稿

4 R 合同献血活動

4 R C 藤川 佳代 (高松空港)

4 R 合同パレードは、コロナで中止しました。パレード終点の百貨店前に献血バスを配置して行う献血活動も中止です。百貨店の粋な計らいで献血活動協力の店内放送までしてくれる事になっていたの、非常に残念です。

自粛が続く中、血液センターから「献血数」が足りないかと相談を受け、

パレードで使用予定だった粗品1,000個と新たに調達した使い捨てマスク1,000枚を、香川県赤十字血液センターに寄贈して、4 R 合同献血活動を実施しました。山から海へ、そして、島へと献血バスの配置を確保して、4 R 全域で活動を計画、実施しました。

4 R が呼びかけた「献血の大切さ」は、報道により多くの方に献血への関心・理解を得る事が出来ました。

粗品の中には、ライオンズ活動のPRとして、献眼や、糖尿病予防など、たくさんの方の資料を入れており、それを見て、アイバンクや骨髄バンクへの登録のお申し出があったことは、二重にも、三重にもの喜びとなりました。

これからも、地域社会の改善のために、4 R は、明るく、元気に頑張っています。



前回3号の「クラブ自慢」に掲載モレがありました——。

うたづら若さと活動力が魅力

うたづらライオンズクラブは女性会員と若い男性会員が多く、とても活動的です！そのため例会もボート例会やそば打ち例会等、多種多様です。ご年配の方も若い会員の意見を取り入れつつ適切なアドバイスをして頂けるので、笑顔溢れる楽しい例会となっています。伝統を重んじながら新しい物を創造する、そんなクラブです。



不掲載のお詫び／3号のクラブ自慢で右のうたづらさんがモレしていました。ここに掲載し、お詫び致します。



〈事務局長〉
越智 陽一
(松山城山)

ちょうど一年前の麦秋の頃

ちょうど1年前の麦秋のころ、大川委員長より、「何もしなくていいから役を受けてくれ」という常套句に、そんなはずは絶対ないと確信しつつも、お断りできない間柄に受けさせていただいたのは「大会事務局長」という、如何にも大変そうな役でした。委員長が太鼓判を押された事務局担当は菅野さんという天分豊かな方でした。お陰様で、万事段取り良く処理していただき結果当方は決められた時間に会議に参加するだけ、でした。

いよいよ準備が佳境を迎えたとき新型コロナウイルスの風が吹き始め、大会中止という残念な結果となりましたが、大川委員長のリーダーシップのもと役員の皆様のこの上のない力が結集できたと考えます。役員の皆様お疲れさまでした。



徳本 秀樹
(松山西)

第66回地区年次大会開催の実感

今年4月開催予定だった第66回地区年次大会を一言で表すと“空”だった気持ちです。今年流行った「新型コロナウイルス」の関係により地区年次大会は異例の様式を変えての一部の実施となりました。約半年間に渡り大川大会委員長を中心として協議された事の大半が花を咲かせず実を結ばずに終わったのが残念でなりません。致し方ないと言う諦めもありますが、誰よりも残念に思っておりますのが高岡地区ガバナーではないでしょうか。しかし、今回の協議内容や実施された内容はこれからの大会にも役立ち、今後の1R担当の地区年次大会にも必ず活かされる事と信じています。

来年は高知県にて第67回地区年次大会が開催されます。今年の分も含めた活気のある大会を期待いたします。第66回地区年次大会統括副委員長としての執筆を終わります。大変お世話になりました。



盛重 信二
(松山東)

地区年次大会への思い

私の年次大会の役割は、式典・代議員総会・分科会・指名選挙会の大会の中核を担う役割で、参加される四国各地の皆様へ思い出に残る大会にしようと奮闘しておりましたが、大会中止の一報を聞いた時、覚悟はしていたとはいえ脱力感に見舞われました。なにより高岡地区ガバナー、酒井ガバナー・エレクトの晴れ舞台を演出できなかったことが残念でありません。

ただ今回の地区年次大会の委員会は、立ち上がりが遅く急ピッチで進められたにかかわらず、大川委員長をはじめ委員会メンバーの皆様とは色々議論を交わす中で絆が深まっていたことは間違いありません。

また、数年後松山の地で大会が行われるとき、できるならば同じメンバーで大会を運営してみたいものです。短い間でしたが大変お世話になりました。



川中 勇
(松山ホスト)

お疲れ様でした

始めにこの度、統括副委員長に指名されまして、身に余る光栄と思われました。いろいろありましたが、何とか今年の年次大会を成功させたかったです。

前回の松山キャビネットです。少しばかり経験が有ったので、それぞれの統括副委員長と協力して何回となく会議打ち合わせを致しました。

みんなの想いは、松山での年次大会を成功させたい一心です。しかし残念ながら、新型コロナウイルスに邪魔をされて、途中で代議員の皆様が集まることなくリジョンごとの指名投票に変更、なんとかいいい方向になりました。高岡地区ガバナーはじめ、キャビネットの皆様は断腸の思いだったと思います。

私共は別としてこの機会に、又ライオンズメンバーとして結束力が、よりよく強まれば良いと思います。私もライオンズメンバーとして31年になります。今回の新型コロナウイルスの件にしまして、世の中何がおこるか分からない、すべからく普段の行いがライオンズメンバーとして、特に襟を正さなければと思いました。

最後に今回の年次大会に対して、ご協力、ご参加、キャビネットの皆様、大川大会委員長、本当にご苦労お疲れ様でした。

次なる、来年に向けて、又新型コロナウイルスに負けずにより未来の年次大会が開ければ、良いと思います。微力ながら、又メンバーの一人として貢献したいと思えます。乱文筆お許し下さい。



村田 裕司
(松山道後)

塞翁が馬

昨年9月に第1回目の実行委員会が開催され、大会まで半年しかない状況でのスタートでしたが、各委員会の責任者、担当クラブの迅速な対応により、大会開催の目途が立ちつつあったときにコロナウイルスの感染拡大により、残念ながら中止となりました。高岡地区ガバナーの苦渋の決断に敬意を表しますとともに、大会準備が順調に進めることができましたのも地区ガバナーのリーダーシップのおかげであり感謝申し上げます。

コロナ禍により人の移動制限、非接触、消毒予防など徹底されましたが、これを機会に生活スタイルや働き方、ビジネスのあり方など人の命や生活を尊重する環境に変化していくものと思われれます。人々が安全で豊かに暮らせるような環境づくりにライオンズクラブが貢献していくことを願っています。



近藤 淳
(松山南)

この一年の活動を振り返って

「いい“ゆ”加減まつやま」へようこそ、というスローガンのもと四国の皆様をおもてなしできたことに、この1年尽力してまいりました。

今回私は、比較的外部の方との交渉が多い担当部署（交通・駐車場、救護、物産展、会場案内）を統括させていただきましたが、これらの活動を通じていろいろな方に出会えたことは、今後のためにも貴重な経験となりました。

残念ながら大会中止という結果となりましたが、これまでに協力をお願いしました関係各位の皆様にお礼申し上げますとともに、新型コロナウイルスが一日も早く収束し、次年度の高知大会には、四国のライオンが集まって大いに盛り上がる大会ができますことを祈念いたしまして私の報告に替えさせていただきます。

新型コロナウイルスと戦う医療関係者に…

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 四国4県へ各1万枚。

感謝と敬意とエールを込め
マスク4万枚贈る!!

財団法人日本ライオンズクラブはライオンズクラブ国際財団(LCIF)緊急援助交付金でマスクを購入、全国47都道府県に合計536,000枚を配布しました。

336-A地区では各県を通じ、日々奮闘されている医療従事者の皆様にお役立ていただくよう贈呈致しました。

・写真/5月20日(火) 愛媛県庁にて



目録を手にする副知事(右から二人目)と高岡地区ガバナー・澤田幹事・兵頭会計

物故会員——謹んでお悔やみ申し上げます——



①岡田 賢治 (71歳)
②2R-1Z 新居浜LC
③1991年3月10日
④2020年3月30日



①服部 カノ子 (90歳)
②8R-1Z 小松島LC
③2009年7月23日
④2020年4月6日



①杉山 譲二 (86歳)
②5R-1Z 丸亀京極LC
③1976年10月26日
④2020年4月19日



①池内 英則 (76歳)
②5R-1Z 丸亀京極LC
③1981年5月6日
④2020年4月21日



①藤田 徳一 (93歳)
②3R-3Z 南宇和LC
③1966年3月1日
④2020年4月23日



①箱崎 誠二 (61歳)
②2R-2Z 今治東LC
③1999年3月4日
④2020年4月25日



①西野 紀元 (82歳)
②3R-1Z 内子LC
③1994年12月8日
④2020年5月3日



①井出 隆三 (90歳)
②2R-2Z 今治LC
③1961年10月19日
④2020年5月5日



①高尾 泰弘 (64歳)
②5R-1Z 坂出白峰LC
③2010年3月1日
④2020年6月14日



①石川 俊夫 (97歳)
②4R-3Z 三木さぬきLC
③1966年3月1日
④2020年6月17日

●2020年3月24日～2020年6月17日まで

●キャビネット

副幹事・事務局次長のこの一年の活動を振り返って



事務局次長
横山 伸也
(松山金龜)

「感謝と感動の一年」

2019年6月、希望の中に不安を抱きながら毎日通っていた松山キャビネット事務局。気が付けば早いもので1年が経過しました。高岡地区ガバナーのキーワード「真心」を胸に活動するなかにおいて、多くの気付きを得られた日々でした。

336・A地区141クラブ約5,800名の皆様と共に歩みを進め、常に四国4県より温かいお心遣いを感じられる1年でありました。若輩者の私でしたが、年4回のキャビネット会議をはじめ、様々な司会を仰せつかること、年次大会事務局との調整など、大変貴重な機会を頂きました。心より感謝御礼申し上げます。

地区年次大会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、残念ながら歴史上初の中止となりましたが、その後9リジョン内の絆は強固なものでした。各地での代議員指名選挙の開催や代替代議員総会の開催など、まさに「四国は一つ」「ワンチーム」であったと振り返ります。

最後に、1年間、手前味噌ながら事務局チームはこの激動の年を、高岡地区ガバナーを中心として村井事務局長、近藤さん、永安さん、日々最高のチームワークを発揮しました。My Lionの移行手続きなど四国内のITトラブルは、松本哲見さんが窓口対応されました。年次大会事務局の菅野さん、三國さんのご尽力にも敬意を表します。表舞台に立つことはなくとも縁の下で共に汗を流した皆様と一ページを忘れることはありません。そして、次の高知キャビネットへとバトンは渡されようとしています。

「感謝と感動の一年」誠にありがとうございました。



事務局次長
藤井 大介
(松山湯築)

この一年の活動を振り返って

今回初めて内局メンバーを務めさせて頂きました。

右も左も分からずでしたが、会議やイベントにはすべて出席することを目標として活動致しました。活動を通して、ライオンズという組織がどういう形で運営されているのかについてとても勉強になりました。今後のライオンズライフの中で生かしたいと思っています。

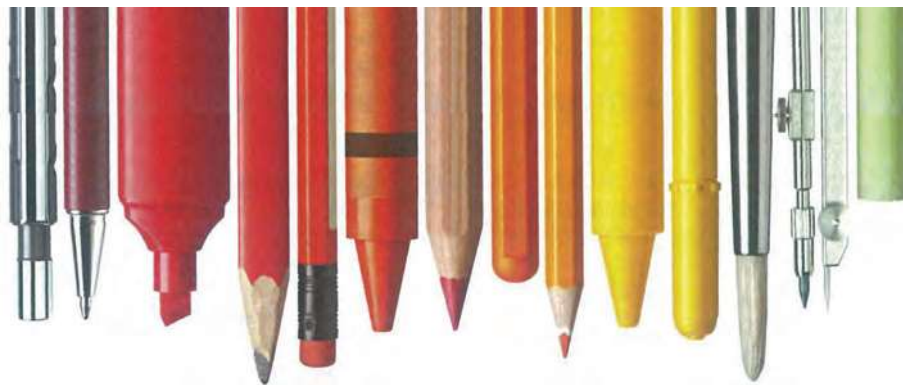
最後に、高岡地区ガバナーをはじめ三役の澤田幹事、兵頭会計、内局メンバーの各委員長や副幹事の皆様、事務局メンバーの村井事務局長、横山次長、松本1R担当委員、事務局員の近藤さん、永安さん、大会事務局の菅野さん、三國さんには、大変お世話になりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。

ありがとうございました

編集後記

高岡地区ガバナーの「四国は一つ」の思いを大切に誌面づくりを心がけた1年、ただ時間に追われ通して消化不良のままタイムアップです。この間、寄せて頂いた原稿は360本余り。添書きにキャビネットへの励まし、ねぎらいの言葉に勇気を頂き、私ごとのアクセシビリティでは高岡地区ガバナーの思いやりに救われ、MC委員長・委員・副幹事に支えられ、そしてキャビネットスタッフの皆様が助けられてのゴールです。言葉足らずですが、全ての皆様に心から感謝：本当にありがとうございました。

地区誌編集委員長 宗像 陽明



PEACE

2020-2021年度

■テーマ

『奉仕で平和を実現しよう』

ライオンズ国際平和ポスター・コンテストをスポンサーして下さり、ありがとうございます!このコンテストは、地域の子もたちと共に、平和、寛容さ、国際理解を推進する素晴らしい機会です。平和を考え、それが自分たちにとって何を意味するかを独創的に表現し、その独自のビジョンを世界の人々と分かち合うことを、11歳から13歳の子もたちに奨励します。

平和ポスター・コンテストの審査

各ポスターは、独創性、芸術性、テーマをどう表現しているかについて審査されます。

ポスターは、地域、地区、複数地区、そして国際的なレベルと、いくつかの段階で審査されます。国際レベルでは、芸術、平和、青少年、教育、マスコミの各分野から選ばれた審査員が、1人の大賞受賞者と23人の優秀賞受賞者を決定します。

- ・1名の国際大賞受賞者には5,000ドルが授与され、特別授賞式に招待されます。
- ・23名の優秀賞受賞者には、それぞれ500米ドルの賞金と表彰状が贈られます。

第33回 国際平和ポスターコンテスト

応募できる方

11歳～13歳までの児童・生徒

(2020年11月15日現在で、上記の年齢に達している方)

応募締切

令和2年11月15日(日)

応募規定

- 用紙の大きさは、33×50cm以上50×60cm以下の画用紙を使用。
- ポスターには、どの国語であれ、言葉や数字を使ってはならない。
- 鉛筆・クレヨン・ペン・マジックペン・絵の具・チョークなどを使うことができる。
- 立体作品は受け付けない。のり・テープ・ホッチキスなどいかなる物も添付できない。
- 応募作品は、郵送用の筒に巻いて入れられるように柔軟性のある物でなければならない。
- 写真を用いてはならない。コンピュータで制作してはならない。

作品募集



We Serve

四国は一つ

■地区ガバナー・スローガン「We Serve (ウィ・サーブ)」

■キーワード「真心」

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
 2019-2020年度 松山キャビネット事務局
 〒790-0066 松山市宮田町188-8-209
 Tel 089-909-5233 Fax 089-909-5234
 E-mail matsuyama2019@lci336a.org

地区誌 四国 4・5・6月
 2020.第110号

発行日 令和2年6月30日
 発行所 336-A地区 松山キャビネット事務局
 発行人 高岡 英治
 編集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会
 印刷 不二印刷株式会社